

工3W81

326
3/4

大正七年一月調

郵便貯金ニ關スル講演資料 第一編

爲替貯金局



始



326-314

郵便貯金ニ關スル講演資料

第一編

目次

第二章	國民戰時貯金委員會第一次年報(千九百十七年三月)	一
第三章	戰時貯金組合規則	四
第三章	戰爭ト米國郵便貯金(千九百十五年)	五
第四章	ボスニアヘルチエゴビナ郵便貯金(千九百十四年)	六
第五章	亞然的音共和國郵便貯金(千九百十七年五月)	六
第六章	埃及新西蘭モザムビーク蘭領東印度郵便貯金(千九百十七年五月)	七〇
第七章	葡萄牙郵便貯金(千九百十七年八月)	七六
第八章	佛蘭西郵便貯金(千九百十七年九月)	八一

与亭繪本

726 寄贈



勅命ニヨリ帝國議會ニ提出セラル

一千九百十七年

倫敦 國立印刷局發行

定價三片(要郵稅)



全國各地ノ書店ヲ經テ若ハ直接左ノ宛名ニテ國立印刷局ニ就キ

倫敦市西中央部郵便區第二區キングスウエー街

倫敦南西部郵便區第一區アビングドン街二十八番地

マンチエスター市ビーター街三十七番地

カーヂツフ市セントアンドリュエー街一番地

エデンバラ市第四街二十三番地

ダブリン市グラフトン街百十六番地

又ハ
イー、ボンソンビー會社

又ハ
倫敦市中央西部郵便區

テー、フイツシヤー、アンウイン會社

ノ英領殖民地英國附庸國北米合衆國及其他ノ外國ニ在ル代理店ヨリ購入セラルヘシ



第一章 國民戰時貯金委員會第一次年報

(一千九百十七年三月一日)

拜啓 國民戰時貯金委員會ノ會員トシテ下ニ署名セル吾等ハ謹ンテ左ノ報告書ヲ
及送付候 敬具

一千九百十七年三月一日

倫敦市中央東部郵便區第四區サリスベリー街

國民戰時貯金委員會

大藏大臣閣下

國民戰時貯金委員會委員

委員長 アール、エム、キンダースレー

委員 ショーデ、エヌ、バーネス

セシルベック

ベージル、ビー、ブラツケット

ゼー、バーン

- ベアトリス、チエムバーレーン
- テオドール、ゼ、チエムバース
- テーエル、ギルモーア
- ヘツドレー、エフ、レバス
- エツチ、ゼー、マツキンダー
- アーサー、エツチ、マーシヤル
- ゼームス、バーカー
- モード、エス、リーベス
- ジー、スチユアルト、ロバートソン
- ウイリアム、スクウーリング
- ステフエン、ワルシユ
- エツチ、ウイザース
- ダブルユー、アルラード
- トーマス、コックス

名譽書記

少額投資者ノ爲ニセル軍事公債ニ關スル委員會

一千九百十五年十一月大藏大臣(國庫事務ヲ執掌スル)國會議員レギナルド、マツケンナ卿ハ少額投資者ニ對スル軍事公債ニ關スル委員會ヲ任命シタリ、此ノ委員會ハ時ノ大藏省財務參與官國會議員イー、エス、モンタギユ卿ヲ其ノ委員長ニ載ケルカ一千九百十六年一月二十六日ニ其ノ最終報告ヲ發セリ

此ノ報告ハ少額投資者ノ問題ニ對スル適當ナル解決ニ依リテ達セラル可キ二個ノ異レル目的ノ存スルコトヲ示セリ、即チ

- 一、物價騰貴ヲ防遏ス可キ一般消費ノ節約
 - 二、戰爭遂行ニ要スル資金ノ一定額ノ調達
- 之ナリ而シテ此ノ報告ノ記述スル處ニ依レハ少額投資者ノ要求スル處ハ左ノ如シ
- 一、簡易ナル貯金放資ノ方法
 - 二、投資元金價格ノ低減セサル可キ保障
 - 三、簡單ノ通知ヲ以テ貯金ヲ拂戻シ得ヘキ能力
 - 四、少額投資者ノ資金ニ付スヘキ利子ノ割合カ大額ノモノニ於ケルカ如ク高率ナル

該報告ハ更ニ進ンテ貯金ノ獎勵勸誘ノ功ヲ收メント欲セハ之カ傳道及組織團結ニ努ムルコトノ共ニ甚肝要ニシテ所謂投資者ヲ放任シテ自ラ投資ノ途ヲ求メシムルカ如キハ不可ナリ須ラク之ト密接ノ關係ニ立ツ世話人ニ於テ諸般ノ便益ヲ供セサルヘカラス且一度貯金ノ舉ニ出テシムルコトヲ得バ其者ヲシテ貯金ヲ習慣タラシム可ク之カ說得ニ努ムルノ必要ナルコトヲ說ケリ而シテ該報告ハ二個ノ委員會ノ設置ヲ提唱セリ即チ其ノ一ハ貯金獎勵ノ傳道ヲ爲シ且協同貯蓄ノ爲ニ戰時任意貯金組合ヲ大規模ニテ創立スルヲ目的トスルモノ其ノ二ハ貯蓄ニ關スル諸種ノ施設事項ヲ規畫若ハ承認シ且國民ノ經濟的健全ヲ保護スルヲ目的トスルモノ之レナリ

尙右ノ報告ノ提唱スル處ニ依レハ此ノ第二ノ委員會即チ中央諮詢委員會ト稱セラルヘキモノハ政府行政ノ一部局トシテヨリハ寧ロ貯金組合其レ自體ノ爲ニ行動スル專門家ノ獨立セル一團體トシテ顧ミラレサル可カラサルモノニシテ各貯金組合事務ノ處理及之カ成績ニ對スル責任ハ各組合自體ニ歸屬セシム可キモ而モ貯金組合ハ本來顧問的任務ヲ有スル中央委員會ニ附屬ノ關係ニ立タサル可カラサルモノトス中央委員會ハ貯金組合ノ組織及規則カ不適當ナリト認メラル可キ場合ニ於テハ其ノ成立ノ

承認ヲ適法ニ拒否スルコトヲ得ヘク又事務ノ處理其ノ宜シキヲ得サル貯金組合ニ對シテハ其ノ存續ノ承認ヲ撤回スルコトヲ得ヘシ中央委員會ハ其所屬貯金組合ノ會計事務ニ對スル監査制度ヲ設定シ以テ之カ監査ヲ行フコトヲ得可ク而シテ此ノ方法ニヨリ組合ノ行動ニ對スル實質的監督手段ヲ全フスルコトヲ得ヘシ

中央委員會ノ經費ハ其ノ機能カ國民的ニ重要ナル點ヨリ觀察スレハ國會ノ豫算協賛ヲ適用セシムルノ可ナルカ如シ尙又此ノ報告書ハ編制委員會及中央諮詢委員會ノ事業ヲ相互連絡ヲ保チ且同一方針出テシムル爲ニ或政府機關ヲ設置セサル可カラサルコトヲ提唱セリ

國民戰時貯金委員會

前掲ノ委員會以下便宜モンタギユ委員會ト略稱スノ爲シタル是等ノ提案ハ大藏大臣ノ採納スル處トナリ一千九百十六年二月八日付覺書ニ依リ大藏大臣ハ左ノ委員會ヲ任命セリ

- (一)國民戰時貯金編制委員會 國會議員ジ、エヌ、バーネス卿委員長トシテ指導ノ下ニ貯金獎勵傳道事業ヲ計畫實施シ及ヒ貯蓄代理機關並ニ投資組合ノ設立ヲ鼓吹

スヘキモノ

(二)戦時貯金中央諮詢委員會 アール、エム、キンダースレー氏委員長ノ下ニ投資組合

ニ對シ其ノ會計上ノ施設細目ヲ指示通牒若ハ認許シ及ヒ組合ノ事業ヲ監督スヘキモノ

而レトモ一千九百十六年四月ニ至リ右掲二委員會ノ事業ハ實際上分離シ難キモノナルコトヲ認メ依ツテ國民戦時貯金委員會ノ名稱ノ下ニ之ヲ合併シタルカ其ノ現時ノ構成ハ左記ノ如シ

委員長

アール、エム、キンダースレー

國會議員

ジー、エス、バーネス

同

セシルベック

勳三等

ベージルビー、ブラツケット

ゼー、バーン

ベアトリステム、バーレン嬢

テオドール、ジー、チエム、バーネ

デー、エル、ギルモア

國會議員

ヘツドレー、エフ、レバス

エツチ、ゼー、マツキンダー

アーサー、エチ、マーシャル

ゼームス、バーカー

モード、エス、リープス夫人

ジー、ステュワート、ロバートソン

ウイリアム、スクウーリング

ステフエン、ワルシユ

ハートレー、ウイザース

ウイリアム、アルラード

トーマス、コツクス

國會議員

名譽書記

蘇格蘭及愛蘭

戦時貯金編成委員會ノ第一回會議ニ於テ爲シタル提案ノ結果トシテ大藏大臣ハ蘇格蘭ニ對シテハ別個ノ委員會ヲ設ケタリ以是本報告書ハ附録中二三ノ總統計表ヲ除ク

ノ外蘇格蘭ニ關スル記事ヲ載セス又愛蘭ニ關シテモ説及セル處無シ

六

一千九百十七年三月迄ノ概況

此ノ年報ノ主部及附録中ノ諸會計表ハ一千九百十六年十二月三十一日以降ノ事實ニ互ラスト雖本事業ノ詳細ニ入ルニ先チ現時(一千九百十七年三月一日)ニ至ル迄ノ施設事項ヲ概説スルノ可ナルヲ認メ左ニ之ヲ記スヘシ

(一) 本年三月一日迄ニ於テ本委員會カ英蘭及ウエールスニ於テ貯金普及並ニ預金者團結ノ爲ニ成立セシメタル地方委員會ノ數ハ壹千壹百個以上ニ達ス而シテ數ニ於テハ不明瞭ナルモ直接郵便局ヲ經由シテ取扱ハル、獨立ノ貯金組合ノ多數ヲ成立セシメタルノ外之ニ加フルニ二萬六千以上ノ戰時貯金組合ヲ成立セシメ委員會ニ附屬セシメタリ數ニ付テ云ハンカ一千九百十六年七月末迄ニ成立存續ヲ見ルニ到レルモノ地方委員會百五十七戰時貯金組合一千二百八十七ニ過キサリシモ一千九百十七年一月及二月ノ間ニ於テ一萬以上ノ新貯金組合ノ成立ヲ見ルニ至レリ斯カル顯著ナル増進ノ原因ハ思フニ曩ニ軍事公債發行ノ期間中地方委員會カ振興ニ勉メタル結果國內ニ充溢スルニ至レル國民的熱誠及ヒ此ノ好機會ヲ利用シ得ヘキ有效ノ制度ノ創設セラ

レタリシ事實ニ歸スルモノナリトス

(二) 附録中第一號表ニ示スカ如ク從前ノ預入金ニ對シ收得スヘキ利子ハ暫ク之ヲ措キ一千九百十四年八月ヨリ同十二月ニ至ル開戰第一期ノ五ヶ月間ニ於テハ少額預金者ノ拂戻額ハ其ノ預入額ヲ超過スルノ状態ナリキ次期ノ十二ヶ月間即チ一千九百十五年一月ヨリ十二月ニ至ル間ニ於テハ少額預金者ノ預入額ハ每週平均六十萬磅ヲ算セリ一千九百十六年一月一日ニハ一千九百十五年十二月二十八日付モンタギユ委員會臨時報告書中ニ記述セル同委員會ノ主張ニ基キ或一人カ郵便局及信託預金局ニ預入シ得ヘキ金額ニ關スル制限ヲ撤廢シタリ一千九百十六年一月ヨリ十二月ニ至ル十二ヶ月間ヲ通シテ預入金ノ割合ハ遙ニ増進シテ一週百六十萬磅ニ上リ其ノ現在金額モ亦七月以降著シキ上騰ヲ示セリ一千九百十七年一月十一日以降公募開始ニ係ル五分利付軍事公債ニ對スル少額投資者ノ應募總額ハ尙未タ的確ニ之ヲ述ヘ難キモ同一月及二月ノ兩月間ニ於テ郵便局應募拂込額ヲ含メ且郵便貯金ヨリノ拂戻額ヲ差引計算スレハ少クトモ四千萬磅ヲ下ラサル可シ

(三) 一千九百十四年ニ戰爭勃發以來一千九百十六年十二月三十一日迄ノ間ニ少額投資者カ政府ニ放資シタル額ハ(額面五百萬磅)ノ戰時貯金證券ノ募入額一千四百二十五萬

七

九千磅ヲ除キ)一億一千八百七十九萬九千磅ヨリ少カラサル額ニ上レリト雖新戰時貯金組合ハ其ノ初ニ於テハ此ノ成績ヲ收ムルニ與ツテ力アリシ機關ノ一部ヲ構成セザリキ既ニ述ヘタルカ如ク國民戰時貯金委員會ノ傳道局ハ先ツ第一ニ既存團體ノ事業ヲ補充スルヲ目的トシタリ故ニ先ノ十二ヶ月間内ニ郵便貯金ノ預金額カ殆ント一千二百萬磅ヲ増加シタル事ハ満足スヘキコトナリ然リト雖一千九百十六年十二月末迄ニ戰時貯金組合ヲ通シテ戰時貯金證券ニ應募拂込ヲ爲シタル額カ辛ウシテ全賣却高ノ十二分ノ一ニ過ギサリシニモ拘ハラズ其後ニ於ケル狀況ニヨレバ右ノ應募額ハ全賣却高ノ五分ノ一ニ達セリト云フ事實ハ之ヲ記スニ興味アリト云フ可シ

現時英蘭及ウエールスニ於テハ主トシテ是迄貯金シタルコト無カリシ人々及ヒ貯金制度ニ誘ハレテ貯金スルニ至リシ人々ノ間ヨリ戰時貯金組合ノ名簿中ニ引キ入レラレテ會員トナレルモノ二百萬乃至三百萬人ヲ算セリ

傳道方法

本會ハ其ノ第一回會合ニ於テ貯蓄ノ獎勵ハ或一階級ニ限局セラル可キモノニ非スシテ其ノ收入ノ如何ニ拘ハラズ總テノ階級ニ對シテ爲サル可キモノナルコトヲ決議シ

タリモンタギユ委員會ハ一般消費ノ節約ノ肝要ナルコトヲ指示セリ而シテ此ノ目的ヲ以テ國民委員會ハ國民ノ利益ノ爲ニ遊樂及奢侈ヲ慎ム可ク貧者ニモ富者ニモ共ニ等シク戎飾セムコトヲ決議シタリ奢侈ヲ戎飾スル引札看板類ノ著シキ揭示ニ依リテ戰爭ノ經濟的狀態ニ關スル公衆ノ討議考及ヲ振興セシムルニ努メ好成績ヲ得タリ又戰時貯金證券ノ廣告ハ他ノ方法ニ依リテハ目的ヲ達シ難キ人々ノ間ニ興味ヲ喚起スルニ有效ナリキ國民委員會ノ主催ノ下ニ行ハレタル一千九百十六年七月ニ於ケル戰時貯金定期週會ハ戰時貯金運動ニ強烈ナル刺激ヲ與ヘタリ而シテ該運動ノ成功ハ旺盛ナル公開運動ト個人的努力ノ周到ナル編制トノ結合ニ依ツテ達シ得ラルヘキノミナリキ

新聞ニヨル事業周知

新聞紙ノ共助ニ付テハ十分ノ便宜ヲ有シ居リ委員會ノ出版部ヨリ定期的ニロンドン及地方ノ新聞社ニ記事彙報ヲ通信シ又戰時貯金ノ題目ニ關スル記事論說等カ主要ナル日刊新聞並ニ教會雜誌及特殊の地方的性質ヲ帶ヘル刊行物ニ對シテ寄稿セラレ居レリ本會ノ提案ニ基キ地方委員會ノ大多數ハ司令本部ニ於ケル出版部ト協力スヘキ

出版事務代表員ヲ任命シ居レリ又從來必要ナル場合ニ應シ作成セラレタル引札類ノ數量ハ非常ニ多シ

戰時貯金雜誌

一千九百十六年九月以後本委員會ハ「戰時貯金」ノ表題ノ下ニ月刊雜誌ヲ發行セリ此ノ出版發行ハ地方委員會ト戰時貯金組合トノ間ノ甚有用ナル交通方法トナレリ此ノ雜誌ハ各委員會及貯金組合並ニ各新聞紙ニ配付セラレ

婦人團體

政治的及産業的色彩ヲ帶ヘル婦人團體ハ本事業ニ對シ何レモ誠實ナル贊助ヲ盡シ居レリ婦人ノ努力ノ平等ヲ目的トセル會合カ倫敦ニ開催セラレ婦人辯士カ戰時貯金運動ニ對シ貴重ナル援助ヲ致シ又致シツ、アリ吾カ中央委員會ノ婦人部モ亦今ヤ家庭ニ於ケル又ハ服裝ニ於ケル一般經濟ノ爲ニ婦人間ニ有力ナル輿論ヲ樹テントノ意見ヲ以テ運動ヲ爲シツ、アリ

劇場、音樂堂、活動寫真館

演技、映畫、講談等ノ方法ニ依リ劇場、音樂堂及活動寫真館等ノ見物客ノ注意ヲ惹クニ勉メ居レリ活動寫真ノ「フィルム」ハ大藏省ニ於テ製作シ之ヲ委員會ノ自由使用ニ委シ殆ント四千個ノ劇場ニ於テ之ヲ觀覽セシメ居レルカ何レノ場所ニ於テモ非常ニ歡迎セラレ座席豫約ノ要求ヲ受ケ居レリ又老巧ナル辯士カ映畫ノ要點ヲ力説スルノ機會ヲ與ヘラレタルコト屢ナリ

集會

一千百個ノ委員會及二萬六千五百個ノ貯金組合ヲ創立スルカ爲ニハ甚頻繁ニ集會ヲ開クノ必要ヲ見タリ之ト同時ニ十五志六片證券ノ細目ヲ説明セル引札類ヲ幾百萬枚トナク之等ノ集會ニ配布シタルカ右ハ此ノ投資ノ特別方式ヲ一般ニ周知セシムルコトニ於テ有力ナル原因ヲ爲セリ然レトモ當初ニ在リテハ更ニ之ヨリモ有效ナル他ノ何等カノ方法ヲ必要トスルコトヲ感セリ委員會成立當初ノ六ヶ月間ニハ嫌疑反抗ニ遭ヒ豫メ十分ニ廣告シ置ケル集會モ出席者少キコト屢ニシテ更ニ一層親睦ナル個人的方法ヲ以テ補充スルニ非サレハ此ノ貯金獎勵運動ヲ效果アラシメ難キコトヲ感セシメタリ

團體組織

本會ハ此ノ目的ノ爲ニ全國ヲ蔽フ處ノ完全ナル組織體ノ建設ニ勉メント決議シ一千九百十六年三月一日ニ於テ倫敦ギルトホールニ一大公會ヲ開催シタリ此ノ會ニハ英蘭及ウエールスノ全地方ノ代表者出席シ席上當時ノ大藏大臣タル國會議員レギナルド、マクケンナ卿、故陸軍元帥キツチナー卿、國會議員エー、ゼー、バルフオーア卿及當時ノ我カ編制委員會タリシ國會議員ジ、エヌ、バーネス卿等ノ演說アリタリ本會ノ運動計畫ハ全國ヲ通シテ偏ク各地ニ戰時貯金委員會ヲ設立スルニ在リテ其政策トスル處ハ地方的獨立及發案權ニ對シ出來得ル限り多大ノ範圍ヲ與フルニ在リ而シテ本團體ノ組織ハ左ノ二者ヨリ成立ス

- 一、戰時貯金委員會
- 二、戰時貯金組合

戰時貯金委員會

或既存ノ團體ニ對シ其ノ事業ヲ補助スルヨリモ寧ロ新ニ戰時貯金委員會ヲ創設スル

ノ策ノ撰ムヘキモノナルコトハ總テノ實例ニ徴シテ明瞭ナリ市邑^{ウルバ}行政區ノ區長又ハ議長ノ招集會議ニ際シ更ニ一會議ヲ開キ地方ニ於ケル一切ノ組合及團體ノ代表者ヲ會合招集シ其ノ會ニ於テ委員ヲ指名ス各郡^{カウンティ}行政區、都市行政區及人口二萬以上ノ市邑^{ウルバ}行政區ハ地方中央委員會トシテ知ラレタル自治體ノ戰時貯金委員會ニ管轄セラレ之等ノ委員會ハ一切ノ事項ニ付國民委員會ト直接交渉ノ關係ニ立ツ而シテ各州ノ其以外ノ町村落ハ郡委員會ノ總轄スル處ニシテ郡委員會ノ會長ハ概シテ州知事又ハ州會議長タリ

郡委員會ノ事業ハ人口二萬以下ノ一切ノ市邑^{ウルバ}行政區ニ地方委員會ヲ設立此ノ點ニ於テ中央地方委員會ト區別セラレスルコト及村落區^{ルラ}ノ一部又ハ全部ニ對スル地方委員會ヲ設立スルカ若ハ村落區ノ一部ヲ隣接村落區ノ地方委員會ノ管區ニ屬セシムルカ孰レカ最も適當トセラル可キ方法ヲ以テ村落區ヲ編制管轄スルニ在リ其團體組織ノ概略ハ國民委員會地方委員會及戰時貯金組合トノ間ノ關係ヲ示セル早見表ト共ニ附録Aニ示セル處ノ如シ

委員會ノ機能ハ二重ニシテ第一ニハ經濟狀態及貯蓄ノ必要ヲ民衆ニ説明シ第二ニハ成ルヘク多數集合體ノ間ニ貯金組合ヲ成立セシムルコト之レナリ、委員會ハ適法ニ成

立シタル戰時貯金組合ヲ國民委員會ニ附屬セシムルノ責任ヲ負フ委員會ハ會計吏員ヲ任命シ戰時貯金組合ノ出納計算ノ有效ナル検査ニ對シ責任ヲ負ハシメ且任意會計監査員ヲシテ參審セシメ以テ其ノ事務ヲ補助セシム此ノ會計検査ニ付テハ免許會計士會及書記協會ノ會員連ボロー及其他ノ地方官廳ノ會計吏員等多數ノ銀行支配人並ニ同出納員等及此ノ關係ニ於テ國家ノ爲ニ面倒ナル勞務ニ服セラレタル其他ノ諸氏ニ對シテ其ノ勤勞ヲ感謝セサル可カラス各委員會ハ書記ヲ任命シ書記ハ執行事務ニ付テ責任ヲ負フ書記ハ業務執行委員ニヨリテ屢補助セラレ

概シテ委員會ハ或集合團體ヲ取扱フ可キ特別代理者ヲ設ケ或ハ學校ヲ或ハ教會ヲ或ハ工場ヲ取扱ハシム又多クノ場合ニ於テ貯金ニ關スル問題ノ婦人的方面ヲ處理セシムル爲ニ婦人代理者ヲ置ケリ斯ノ如キ方法ニテ委員會ハ一般民衆ノ生活ト甚ダ密着セル接觸ニ立チ其ノ感化影響スル處深遠ナリト云フヘシ

委員會ヲ成立スル會員ノ員數ハ甚シキ懸隔アリテ少キモノハ僅ニ十二名ニ過キササルモノアレハ二百人ノ多キニヨルアリ概言スレハ委員會ハ大ナレハ大ナル程其ノ効益顯著ナルコトヲ立證シ居レリ蓋シ其ノ勢力影響ノ及フ處一層廣キ面積ニ互リ其ノ結果トシテ比較的多數ノ戰時貯金組合ヲ作ルコトヲ得ヘケレハナリ

委員會ノ目錄表ハ附錄第二號表ニ之ヲ示セリ之ト共ニ第三號表ニハ八百個ノ委員會ノ總人員ノ分類ヲ示ス

戰時貯金組合

各戰時貯金組合ハ各自其ノ組合長、出納員、書記、委員ヲ有スル獨立自治ノ放資團體ナリ此等ノ貯金組合即チ所謂俱樂部、教會學校、友誼協會、社交俱樂部等ノ如キ社交團體ト關連結合シテ組織セラレ及ヒ鑛山、軍需品製造署、工場倉庫及各種船舶ニ於ケル使用人間ニ成立セラレ居レリ現時ニ於テハ(三月一日)英蘭及ウエールスニ於テ行動スル貯金組合ノ數ハ二萬六千五百以上ニ及ヘリ其ノ會員數ハ十人位少キモノヨリ一萬人位ノ多數ナルモノ迄モ差異アリ第四號表中ノ目錄表ハ一千九百十七年三月一日ニ於ケル此等組合ノ分布ニ付テノ概念ヲ與フルナル可シ此等ノ組合ハ事業ニ深刻ナル趣味ヲ有スル人々ノ團體ナリ蓋シ組合員ハ其ノ主タル仕事カ毎週正規ノ努力ヲ要スルノ事實ニヨツテ常ニ活動ノ状態ヲ持續セサルヘカラサレハナリ此ノ運動ヲ開始セル以來解散セル組合ノ數ハ僅ニ百七十二個ニ過キササルコトヲ記述スルハ満足スヘキコトナリ

郵便貯金國庫證券

十六

モンタギュー委員會ハ其ノ臨時報告書中ニ於テ郵便貯金預金額ニ對スル現存制限ハ戰時中之ヲ撤廢スヘキコト及ヒ國庫證券ハ之ヲ五磅トシ且五磅乃至百磅間ノ各種額面券ヲ發行スヘキコトヲ提唱セリ年利五分ノ率及年利六分ノ率ノ利子ヲ付セル上述ノ如キ證券ハ一千九百十六年ニ偏ク發賣セラレテ殆ント四千四百萬磅ヲ國庫ニ齎ラセリ

戰時貯金證券

金額ノ餘リ多カラサル貯金ヲ爲サムトスル者ノ爲ニモンタギュー委員會ハ其ノ最後ノ報告書中ニ戰時貯金預證即チ現時戰時貯金證券トシテ知ラル、證券ノ發行ヲ提唱セリ此ノ證券ハ十五志六片ノ代價ヲ以テ購入セラレ而シテ何時ニテモ現金ニ引換ヘラル發行後十二ヶ月ノ終リニ十五志九片ニ引換ヘラレ其ノ期以後ニ於テハ其ノ現金引換價格ハ毎月一ペニー宛増加シ五ケ年ノ終ニ於テハ一磅ニ引換ヘラル國民委員會ニ附屬セル貯金組合ヲ除キテハ何人モ亦如何ナル團體モ五百枚以上ノ證券ヲ所持

スルコト能ハス各證券ニハ番號ヲ付ス而シテ特定人ノ要望ニ依リ發行セル場合ニ於テハ其者ニ屬スルモノトシテ郵便爲替局ニ於テ登錄ス此ノ證券ノ所有者ハ自己ノ署名ヲ提供セサルヘカラス隨ツテ他ノ受領權限無キ者ハ何人タリトモ證券ノ現金拂戻ヲ受クルコト能ハス證券一通十二通又ハ二十五通若クハ二十六通ヨリ五百通マテヲ包括シテ表示スル單一證券ヲ請受クルコトヲ得ヘシ戰時貯金證券ハ何レノ爲替取扱局ニ於テモ拂戻請求後二三日内ニ其ノ現金ノ支拂ヲ受クルコトヲ得

所得稅ノ徵收及免除並ニ之ニ關スル權利ノ證明等ニ關スル一切ノ手續ハ現時之ヲ省略シテ行ハレス一千九百十六年ノ會計法第四十二款ノ規定ニ曰ク郵便局ヲ通シテ大藏省ノ發行セル戰時貯金證券ハ郵便局ニ就キ其ノ購入者カ十五志六片ヲ直接拂込ムコトニ依ツテ五ケ年後ニ一磅ノ金額ヲ受クル權利ヲ得セシムルモノニシテ之ニ關シテ支拂ハル可キ積算利子ハ該購入者ノ所有スル證券金額カ大藏省制定ノ規則ノ下ニ當時一私人カ所有ヲ許容セララル、金額ヲ超過セサル限リハ所得稅ヲ免除セララル、モ

ノトスト

若シ所得稅納付者カ一般ニ此ノ投資方式ヲ利用スヘカリシナラハ歳入ニ及ホス處ノ容易ナラサル結果ヲ避ケンカ爲メ當初ノ規定ハ戰時貯金證券ノ發行ヲ制限シ一切ノ

十七

財源ヨリ生スル全所得カーケ年三百磅ヲ超過セサル人ニ對シテノミ之カ所有ヲ許セ
 リ然レトモ實際ノ經驗ハ此ノ制限ノ望マシキモノニアラサルコトヲ示セリ證券ヲ購
 入スル時ニ於ケル所得額ヲ決定通告スル必要ハ處理上ノ困難ヲ惹起スルノミナラス
 此ノ所得額制限ノ理由ノ爲メ一時的多額ノ貸銀ヲ儲ケツ、アリシ多數貸銀所得者
 ハ證券ヲ購入シ若クハ貯金組合ニ加入スルコト能ハサルニ至ルヘク且ハ中産程度ノ
 者ヲ戰時貯金組合ノ會員ヨリ除外スルコトハ望マシカラサル階級差別ヲ生セシムル
 傾向アリ此等ノ事實ニ鑑ミテ委員會ハ大藏省ニ對シテ所得制限ヲ廢除スヘキコトヲ
 提唱シ而シテ一千九百十六年六月十日ニ及ヒ愈其ノ制限ハ除去セラレタルモ其ノ代
 リトシテ證券五百通ノ制限カ或一人ノ所有スヘク許容セラル、數ノ上ニ置カレタル
 モノナリ

第五表ハ一千九百十六年十二月三十一日迄ニ發行シタル戰時貯金證券ノ種々ナル種
 別ヲ記セルモノナリ

少額投資者ニ對スル證券ノ賣却

戰時貯金組合ハ郵便局ノ補助機關トシテ國債及證券ノ拂込金ニヨル共同購買ノ事務

ヲ取扱フ組合ノ委員會ニ附屬スル必要條件トシテ組合ハ其拂込ヲ受ケタル一切ノ金
 額ヲ直ニ政府證券ニ投資スルノ義務アリ委員會ニ附屬ノ關係ニ立テル戰時貯金組合
 ニシテ其ノ任意ノ定款ノ中ノ何レカーヲ採用セリ組合員ハ其ノ拂込ヲ爲シ得ヘキ時
 テ制定セル典型的定款ノ中ノ何レカーヲ採用セリ組合員ハ其ノ拂込ヲ爲シ得ヘキ時
 及額ニ於テ少許ノ金額ヲ組合ニ拂込ムモノトス而シテ大多數ノ場合ニ於テハ各員カ
 十五志六片ノ拂込ヲ完了スルト同時ニ戰時貯金證券一通ヲ受領ス此ノ證券ハ組合ノ
 出納員カ各組合員ノ各週定期拂込金ノ合計額ノ總收入金ヲ以テ購買シ得可キ豫約準
 備數割當供給數中ヨリ交付セラル、モノナリ又現在貯金中ヨリ一時ニ證券購入ヲ爲
 スノ便法モ規定セラレ居レリ共同貯蓄ノ方法トシテハ戰時貯金證券ハ軍事公債ニ比
 シテ遙ニ人氣ヲ博シタルコトハ軍事公債ノ發行ヲ一千九百十六年末ニ止メタル以前
 ニ於テモ實際上全部ノ貯金組合カ專ラ貯金證券ノミヲ取扱ヒツ、アリシコト之ヲ證
 明セリ

司令本部

司令本部ニ於ケル組織ハモンタギュー委員會ノ提案通ニ之ニ從ヘリ傳道委員會ト顧

問委員會トカ其ノ步調ノ同一ヲ一層緊密ナラシムル爲ニ幾程モ經スシテ合併混同セラレタルコトハ既ニ述ヘタルカ如シ全國ヲ通シテ事業ノ引續キテ擴張スルト共ニ任意的委員會及組合ノ多數ノ指揮監督ノ爲ニ必要ナル部局の事務ハ引續キテ増加シタリ、リソルンコルンスイソフイールドニ於ケル信託局ノ二三ノ室ニ設ケラレタル本會最初ノ事務局ハ幾程モ經スシテアビングドン街ニ於ケル二個ノ家屋ニ移轉シタルモ此等ノ事務所ハ今度ハ其ノ代リニ設備不完全ナリシヲ以テ一千九百十六年七月ニ到リ更ニフリート街サクスベリースクエヤニ在ルサリスベリーホテルニ其ノ部局ヲ移シ現時ニ於テハ其處ニ廳舎ヲ構ヘ居レリ

地方團體ヲ設立スル事業ハ今ヤ完成ニ近キツヽアリ右ハ任意代理員ノ設置ニヨリテ大ニ其ノ助力ヲ得タリ任意代理委員ハ種々ナル區ニ於ケル國民委員會ヲ代表シ其ノ或者ハ現ニ國民委員會ノ會員タリ此等ノ代理委員ハ其ノ支配ノ下ニ立チテ更ニ小區域ニ於ケル發展ヲ企劃スル爲ニ設ケラレタル創立員ヲシテ其ノ事務ヲ補助セシメ居レリ

國民委員會ハ亦特別代理委員ヲ設ケ特ニ軍需品製造所從業者及軍隊等ノ如キ團體ノ事務ヲ取扱ハシム此等ノ特別代理委員ハ本部ノ行政部及全國各所ノ地方委員會ト密

接ノ協力ニ於テ行動ス

概況

委員會ノ特別行動ノ數種ヲ記スハ興味アルヘケレハ左ニ之ヲ示ス

學校

此ノ國ニ於ケル學校ノ大多數ハ戰爭以前ヨリ學童貯金ヲ有シ此等ノ貯金ハ二重ノ目的ヲ充タセリ即チ少許ノ金額カ學童貯金ニ集收セラレ而シテ兒童ノ衣服ノ購入休暇日ノ雜費又ハ其他ノ家庭必需品ノ購買ノ爲メ定期的ニ之ヲ引出スコトヲ得ルヲ以テ學童貯金ハ兒童ノ需要ニ應スヘキ父母ノ側ニ於ケル一時的貯金ニ便利ナル機關ヲ供セリコノ貯金ハ亦一層永續的貯金ニ對スル基礎トナリ屢繼續的預金計算ノ種子ヲ播ケリ此等ノ學校貯金ノ多數ハ主トシテ英蘭ノ北部ニ於テ信託貯金銀行等ノ貯金制度ニ關連結合シテ開始セラレタルモノナリ既ニ有力ナル貯金計畫ノ行ハル、處ニハ吾人ノ政策ハ既存ノ制度ニ代フルニ委員會附屬貯金組合制ノ何レカノ一ヲ以テスルカ如キ企圖ヲ爲サル、ニ在リ既ニ學童貯金ノ現存セル學校ニ戰時貯金組合ヲ設ケ而モ

兩者共ニ實際其ノ預金ヲ増加セル場合決シテ尠少ニアラス全國各地ノ各教員ハ戰時ニ於ケル貯蓄ノ必要ヲ兒童ニ説明シツ、熱誠ヲ以テ本運動ニ盡瘁シ居レリ以之他ノ委員ニ依ツテ接觸スルコトヲ得サリシ多數ノ父母タル者ニ對シテハ其ノ兒童ヲ通シテ本會ノ趣旨ヲ達スルコトヲ得斯クノ如クニシテ一般公衆ノ感情ニ影響ヲ與ヘ居レリ學校ニ於ケル事業ハ吾人ノ國民的生活ノ上ニ恒久的効果ヲ持ツヘキコト必セリ

教會

貯金組合ノ多數ハ凡テノ種類ノ教會ト結合シテ設立セラレ居レリ多クノ教會ハ其自身ノ財政困難及負債ヲ有シ居リ戰爭ノ爲ニ益之ヲ増加シタル事實ニモ係ラス牧師書記等ハ戰時貯金運動ニ對シ滿腔ノ贊助ヲ與ヘタリ

友誼協會

友誼協會ニ結合シテ貯金組合ヲ設立スル事ニハ假令大ナラサリシト雖或進歩カ爲サレタリキ然レトモ此等ノ團體ハ其ノ中央財産ヨリ大ニ軍事公債ニ對シ醸出シタリ

海軍

官憲ノ衷心カラナル協力ニ因リ海軍部内ニモ多クノ貯金組合ノ成立ヲ見而シテ軍事公債及大藏省公債ニ對シ醸出シタル金額ハ非常ナル多額ニ上ル多數ノ現役將校及兵卒ハ政府證券ニ投資スル爲ニ其ノ俸給中ヨリ引去交付額ヲ作ルコトヲ委任シツ、アリ

陸軍

一千九百十六年十一月四日ニ於ケル陸軍會議ハ陸軍戰時貯金部長官トシテ任命セラタル一陸軍將校ノ權限ヲ委員會ニ委任シタリ其ノ將校ノ下シタル命令ハ本運動ニ強烈ナル實際的利益ヲ現示シ一千九百十六年十二月三十一日迄ニ本會ノ講演ニ參聽シタル兵卒ノ數ハ二十萬人以上ヲ算セリ講演ニ於テハ兵卒ニ對シ國內ニ於テハ各自ノ貯金ヲ又海外ニ在ルノ時ニ於テハ其ノ未拂給與額ヲ投資スルノ方法ヲ詳細ニ説明スル處アリシカ其結果ハ極メテ獎勵的ニシテ内地ニ於テ成立シタル貯金組合ヲ通シテ少額ニテ投資セラレタル金高ハ數千磅ニ上リ而シテ海外ニ於ケル者ヨリハ郵便局ヲ通シテ二十一萬五千四百八十一磅ヲ下サル額ヲ投資シタリ

兵器工廠

國立兵器工廠及兵器省長官ノ管理ニ屬スル製造所ニ於ケル貯金事業ニ對シテハ本委員會ハ兵器廠局ヲ設ケ兵器省長官ノ二人ニ屬スル權限ノ委任ヲ受ケ其ノ事務ヲ施行ス現時國立兵器工廠及政府ノ管理ニ屬スル製造所ニ於テ存立セル貯金組合ノ數ハ殆ント二千ニ達セリ

商館、工場、鑛山、鐵道會社

貯金事業ハ使用者被使用者双方ノ衷心ノ協力ヲ要ス主人ト雇人トノ協力ニヨル組合ヲ獎勵スルト共ニ本委員會ハ一面ニ於テ又被使用者自身等ノ組合ノ處理ヲ獎勵保護セリ多クノ場合ニ於テ使用者ハ其ノ雇人ヲシテ貯金證券ヲ購入スルニ至ラシムヘキ好餌例之各證券ニ付端數六片ノ支拂ヲ自ラ負擔スルカ如キ申出ヲ提供シテ其ノ勸誘ニ成功シタリ本運動ヲ擴張スヘク雇人主人兩者ノ協力セル組合ニ於テハ委員會ハ其ノ行動ノ絶對的自由ヲ認メ且之ヲ獎勵セリ以之貨銀ヨリ定期ニ引去ルコトニ基ケル組合計畫カ被使用者ノ要求ニ依リテ實施サル、ニ至レル場合尠シトセス倫敦及南西部鐵道會社ハ最近ニ面白キ組合組織ヲ施行シタリ同會社ハ其系統ノ全部ニ戰時貯金組合ヲ設ケタルカ其ノ組合各員ハ或ハ戰時貯金證券ノ引換券ヲ買フモ可ナリ或又其

ノ拂込金ヲ俸給ヨリ減額ヲ受クルモ可ナルモノトス擇一的ニ引換券ヲ買ハシムル方法ノ成立ハ貨銀ヨリ控除スルコトニ對スル惡感ノ多クヲ除却セルカ如キ觀アリ而シテ此ノ計畫ノ兩者ハ共ニ満足スヘキ進歩ヲ爲シ居レリ
大工事作業場及製造場ニシテ其被雇者カ貯金證券ノ購買ノ爲メ其ノ俸給額ヨリ一定ノ減額ヲ受ケンコトヲ要求セルモノ亦尠シトセス然レトモ此ノ方式ハ必スシモ強キテ勵行セラレサリキ蓋シ簿記及管理ノ點ヨリ觀察スレハ此ノ方式ハ簡便ナレトモ苦情ヲ惹起シ易ク又反對ニ導カレ勝ナレハナリ

バーミンガム共同貯金銀行

國民委員會トモ商議ノ後一ノ法案カ議會ニ提出セラレタルカ少シク或理由ニヨル延期ノ後一千九百十六年八月二十三日ニ勅裁ヲ經タリ此ノ法律即チ一千九百十六年ノ都市貯金銀行(軍事公債投資條例ハ二十五萬人以上ノ人口ヲ有スル都市行政區ニ於テハ或種ノ制限ノ下ニ都市貯金銀行ヲ設立スルコトヲ認許シタルカ今日ニ至ル迄ニ於テ該條例ヲ採用シタル都市ハバーミンガムノ一市アルノミナリバーミンガム市ニハ一千九百十六年九月末ニ一銀行ノ設立ヲ見タリ法律ノ規定スル處ニ依レハ當該

銀行ハ貸銀ヨリ減額スルノ方法若クハ其他ノ方法ニヨリ使用人ヲ通シテ被使用人ノミヨリ預金ヲ受領セサルヘカラス而シテ又或預金者ノ名義ニ屬スル預金額ヲシテ二百磅ヲ超過セシムルカ如キ預入金ハ一切之ヲ受入ル、コト能ハサルモノトス尙又右ノ條例ハ右ノ銀行ハ現在ノ戰爭終了後三個月ヲ經過シタル以後ニ於テハ事業ヲ經營スヘカラサルコト(清算結了ノ目的以外ニ)ヲ規定ス此ノ法律ノ實施期日後日尙早キ爲メ其ノ實驗ノ成功ヲ批判スルハ早計ニ失スヘシ一千九百十六年十二月三十一日迄ニ該條例ニ從ヒ國債委員會ヲ經テ投資サレタル金額ハ一萬八千磅ナリ

他ノ二三ノ都市ニ於テハ特別制度ヲ實施シタリ然レトモ概シテ云ヘバ少額投資者ヲ獎勵スル尤モ人氣アリ且有効ナル方法ハ協同投資團體トシテ行動スル戰時貯金組合ノ通常方式タルコトヲ立證セリ

經 費

司令本部ニ於ケル事務ノ大部分ハ無報酬ニテ遂行セラレ居レリ然レトモ廣汎ナル既成ノ地方機關ヲ管理スルニハ必然多量ノ書記的業務ヲ包含シ一千百個以上ノ地方委員會トノ通信及日ニ増シ其ノ數ヲ加ヘツ、アル殆ント二萬七千ニ近キ戰時貯金組合

ノ支配監督ハ多數吏員ノ服務ヲ必要トス之ヲ以テ本事業ニ關係セル人々ノ多數ハ或ハ全然若クハ一部其ノ任意ニ基キ執務セルニモ係ラス本委員會中央行政部ニ於ケル或額ノ經費ハ到底之ヲ避ケ難シ

一千九百十六年十二月三十一日迄ニ於ケル國民委員會ノ經費總額ハ他ノ政府行政部局即チ官業局及印刷局等カ國民委員會ノ爲ニ支出シタル費用ヲ含メテ殆ント四萬五千磅ニ達セリ之ニ關スル詳細ノ事項ハ第六號表ニ示ス此ノ經費ノ大部分特ニ引札及廣告ニ關スル經費及設立員ニ對スル經費ノ或部分ハ非回歸的ニシテ主要ナル性質ヲ有スルモノトシテ顧ミラルヘキモノナリ國民委員會ノ經費總額ハ四萬五千磅ヲ要セルヲ以テ國民委員會創立ノ日即チ一千九百十六年二月ノ初ヨリ一千九百十六年十二月三十一日迄ノ間ニ少額投資者カ政府ニ貸與セル金額ニ對比スレハ恰モ其ノ百磅ニ對スルニ志弱ヲ示ス全國各地方ニ於テ任意ニ本事業ノ維持ニ加ハレル個人ノ勤勞ノ重要ナルコトハ如何程之ヲ述フルモ及ハサル程ナリ全國ヲ通シテ地方委員會ハ有力ニシテ熱誠ナル事業ノ開拓者ノ核子ヲ集合スル手段トナレリ既成委員會及組合ノ多數ノ創立ハ個人的努力及個人的感化力ニ負フ處多ク成立後ニ於ケル此等團體ノ存續モ亦等シク任意的個人勤勞ニ基クモノナリ典型的組合組織ハ事業費ヲ準備スル様ニ

ハ構成セラレアラス假令或種ノ委員會ノ場合ニ於テハ少許ノ免許額カ其ノ創立費トシテ與ヘラレ居レリト雖概言スレハ此等團體ハ司令本部ヨリ何等金錢的補助ヲ受クルコト無クシテ設立セラレ居レルト共ニ國民委員會ハ最初ヨリ凡テノ地方委員會ノ繼續的經營費ハ地方的ニ之ヲ求メサルヘカラサルコトヲ固執シタリ現時ノ結果ハ國民委員會ノ政策ヲ十分ニ正當トセリ吾人ハ信ス地方委員會ハ政府ノ金錢的補助ヨリ獨立セサル可カラサルコトカ採用スヘク餘義ナクセシムル處ノ獨立的方法ヲ尊重スヘキコトヲ斯様ニ定メラレタル委員會ノ地位ハ國民委員會及其ノ地方機關カ全然若クハ主トシテサヘモ政府債券ノ賣却ノ爲ニ存スルモノニアラス又單純ナル國債賣却事業ニモアラスシテ其ノ領域ハ第一ニハ國民的需要ニ對シ貨財勤勞ヲ供給スル爲ニ此ノ戰爭ノ間一切ノ愛國の經濟義務及放肆浪費ノ謹慎ヲ一般公衆ニ説明心服セシムルニ在リ第二ニハ國民的利益ニ貢獻スル爲ニ人民ヲ組合ニ團結セシムルコトニ對スル便宜ヲ供スルニ在ルノ事實ヲ確說スルニ特ニ必要ナルモノナリ

各個人ヨリ任意ノ助力ヲ受ケタル外ニ國民委員會ハ幸ニモ二三ノ政府部局特ニ驛遞局及教務局ノ官僚ヨリ繼續的ニシテ極メテ有効ナル助力ヲ受ケ又全國ヲ通シテ各地ノ州會都市參事會市邑町村及區ノ參事會ノ吏員ヨリ多クノ貴重ナル助援ヲ受クコト

ヲ得タリ

軍事公債運動

一千九百十六年末以來國民委員會ハ最近發行ニ係ル軍事公債ヲ普及セシムル目的ノ爲ニ委員會司令本部及全國ニ互レル委員會ノ組織制度ヲ大藏大臣ノ管理ニ屬セシメシコトヲ大藏大臣ヨリ要求セラレタリ

此ノ成功的ニシテ而モ困難ナル公債募集事業ノ細詳ハ勿論此ノ報告書ノ範圍内ニ屬セス然レトモ軍事公債運動ノ結果ハ本會組合ノ繼續的活動ヲ大ニ刺戟スル處アリタリト云フモ可ナルカ如シ而シテ吾人ハ其ノ結果トシテ委員會カ先年中ニ於ケルヨリモ來ル可キ年月ノ間ニハ更ニ一層大規模ニテ行動スルナラント期待スヘキ理由ヲ有ス

軍事公債運動ノ終了後本會ハ食料品管理官ヨリ本委員會ノ制度機關ヲ任意的食料品經濟ノ目的ノ爲ニスル國民運動ニ對シテモ亦等シク利用セムコトヲ要求セラレタリ而シテ全國各地ノ戰時貯金委員會ハ今ヤ此ノ目的ノ爲ニ着々其ノ實行ノ歩ヲ進メツツアリ

國民的需要ノ急迫ナルコト及國民的便宜ノ大ナルコトヲ實認セル人々ニ對シテハ戰時貯金運動ノ道程ハ緩慢ニ過クルト見ユルヤモ知レス然レトモ吾人カ戰爭以前ニ於テハ此ノ國ニ於テハ貯蓄ノ力ニ對シ如何ニ僅少ノ重ミカ置カレタリシカヲ回想セハ此ノ報告書ニ添屬セル統計表ハ實ニ顯著ナル示ス矧ルモノト云フヘシ斯カル成功ニ與ツテ最モ力アリシモノハ國會議員レギナルドマツケンナ卿ニヨリテ任命セラレタルモンタギュー委員會ノ考案タル戰時貯金證券其者ナリト云ハサルヲ得ス此ノ債券ハ少額投資者ノ國庫證券トモ云ハルヘキモノナリ利子ヲ得ルコトヨリモ資本ヲ集スルコト即チ將來ノ金ヲ買フト云フ點ヨリ觀察スルニ此ノ證券ハ少額投資者ニ對シ投資サレタル元金ヲ何時ニテモ必要ナル場合ニ回收シ得ヘキ完全ナル保證取扱手續ノ簡便ナルコト及各ノ十五志六片カ貯蓄サレテ一磅ト爲レル時ニハ元金ニ對シ實質的附加ヲ得ルコトノ確實ナル希望等其ノ最モ希望スル處ノ條件ヲ精確ニ提供ス戰時貯金組合—モンタギュー委員會ノ提案シタル本制度ノ一要素タル—ハ六片若クハ一片以上サヘモノ如キ甚タ少許ノ金額ノ協同的貯蓄ニ對スル便法ヲ供シ以テ此ノ證券

ノ誘引力ヲ増加シタリ地方的及個人的努力ノ團體組織カ示セル行動作用ニ關シテハ既ニ述ヘタル處ノ如シ

國民委員會ハ最初ヨリ其ノ發行セル印刷物ニ於テモ亦其ノ一般傳道ニ於テモ此ノ戰爭ノ間凡テノ人々ノ不必要ナル費用ノ節約ヲ必要トスル基本的經濟理由ヲ最モ簡短ナル方法ニテ説明セント勉メタルモノニシテ戰時貯金運動カ受ケタル廣汎ナル贊助ハ專ラ此ノ感情ニ對スルヨリハ寧ロ理性ニ對スル訴ヘニ歸因スルモノナリ

一千九百十七年一月及二月ニ於ケル軍事公債運動ハ戰時貯金運動ノ發達上一時期ヲ畫ス其ノ赫灼タル成功ハ一千九百十六年ニ爲サレタル行動殊ニ一時ハ少クトモ不人氣ナリシカ爲メ當年ノ間勞苦盡瘁シタル數千名ノ任意當事者ノ獻身の勤勞ニ對シ榮冠ヲ被ラセル報償ナリキ我カ委員會ノ軍事公債運動ハ一千九百十七年一月十一日ウエストミンスター中央會堂ニ催サレタル會議ニヨリ開始セララル、ニ至レルモノナリ

此ノ會議ニハ全英蘭及ウエールスヨリ地方官憲及戰時貯金委員會ノ代表者一千五百人以上ノ出席ヲ見タルト共ニ大藏大臣ノ演達アリタリ斯クノ如キ多數ノ我カ事業家カ結合集會セルコトハ之ト共ニ一大國民運動ニ於ケル一致及協力ノ觀念ヲ齎ラシタルカ此ノ觀念ハ國民ノ經濟的習慣ノ上ニ恒久的效果ヲ有スルナラント信セララル

附錄A號

組織ノ梗概

- 一、各州市行政區人口二萬以上ノ各郡市行政區並ニ市邑行政區ニ地方中央委員會ヲ設ク地方中央委員會ノ管轄ニ屬スル戰時貯金事業區域ハ地方行政事務ノ管轄區域ニ同シ
- 二、各州行政區ノ殘餘ノ地ハ州委員會ノ管轄ニ屬ス州委員會ハ其地ニ於ケル貯金組合ノ設立ヲ掌ル
- 三、州委員會ハ地方委員會ヲ設ケテ其ノ管轄區域内ニ於ケル組合組織ヲ掌ル地方委員會ハ州委員會カ其ノ設置ヲ必要ト認ムル市邑行政區又ハ町村行政區ニ之ヲ設置ス州委員會ハ斯カル地方委員會ノ設置ニ付其ノ承認ヲ國民戰時貯金委員會ニ要求ス地方委員會ハ州委員會ヨリ戰時貯金組合ヲ加入附屬セシメ及印刷物ヲ給付スル權ノ委任ヲ受ケ之ヲ施行ス
- 四、人口二萬以下ノ郡市行政區若ハ市邑行政區ノ場合ニ於テハ地方委員會ノ管轄スル戰時貯金事業區域ハ州委員會カ反對ノ規定ヲ設ケ又ハ國民委員會ノ承認條款ニ反

對ノ記述無キ限リハ其ノ郡市行政區又ハ市邑行政區ノ行政區域ニ同シ地方委員會ノ管轄區域ハ如何ナル場合ニ於テモ行政區域ヨリ狭少タルヘカラス然レトモ之ヲ擴大シテ隣接町村行政區ノ二三村落區ヲ編入スルコトヲ得ヘシ

五、町村行政區ノ場合ニ於テハ地方委員會ノ管轄スル戰時貯金事業區域ハ州委員會カ反對ノ規定ヲ設ケ又ハ「承認條款」ニ反對ノ明文無キ限リハ其ノ町村行政區ノ行政區域ト同一ナリ然レトモ州委員會ハ町村行政區内ノ一個若ハ數個ノ隣接區民ヲ管轄スベキ地方委員會ヲ設クルコトヲ得ベク又隣接市邑行政區ノ地方委員會ノ管轄區域ニ町村行政區内ノ一個若ハ數個ノ民區ヲ編入スルコトヲ得ヘシ

六、戰時貯金組合ヲ委員會ニ加入附屬セシムルコトニ關シテハ全國ヲ通シテ左ノ手續ニ依ル

- (イ) 州市行政區及人口二萬以上ノ郡市行政區並ニ市邑行政區ニ於テハ
（一）地方中央委員會ノ存スル地ニ於テハ組合ハ其ノ行動セント欲スル地域ヲ管轄スル委員會ヲ通シテ國民委員會ニ附屬ス
- （二）地方中央委員會ノ未タ設置無キ地ニ於テハ組合ハ國民戰時貯金委員會ニ直接ニ附屬ス而シテ地方中央委員會カ設置セラル、ニ及ンテハ之ニ移屬セシメラ

(ロ)人口二萬以下ノ都市行政區及市邑行政區並ニ一切ノ町村行政區ニ於テハ

(一)州委員會ノ授權ニヨリ地方委員會ノ存スル地ニ於テハ貯金組合ハ其ノ地方委員會ヲ通シテ附屬ス

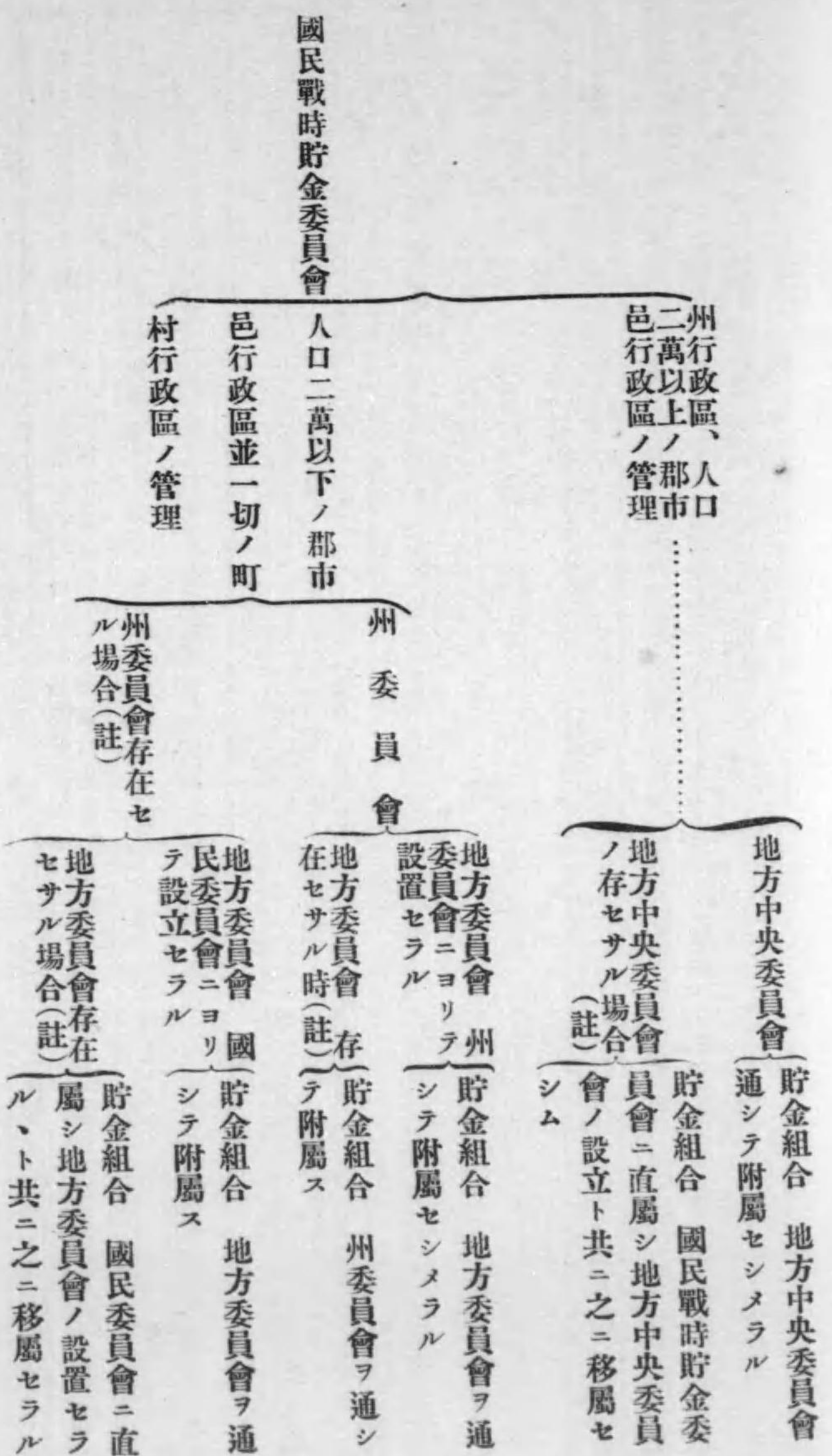
(二)州委員會ノ存セサル爲メ國民戰時貯金委員會ノ授權ニ依リ地方委員會ノ成立存在セル地ニ於テハ組合ハ其ノ地方委員會ヲ通シテ附屬ス

(三)地方委員會ノ設置無キ地ニ於テハ當分ノ間州委員會ヲ通シテ若シ又州委員會存セサルトキハ直接國民戰時貯金委員會ニ附屬シ而シテ地方委員會ノ設立セラル、ニ及ンテ之ニ移屬セシメラル

七、地方中央委員會州委員會地方委員會ハ其ノ管轄區域ノ範圍外ニ於ケル貯金組合ヲ附屬セシムルコト能ハサルモノトス

八、官立工場ニ於ケル貯金組合ハ直接國民戰時貯金委員會ニ附屬セシムルコトヲ得組織略表

國民戰時貯金委員會ノ下ニ行動スル各委員會及貯金組合ノ分類表ヲ示ス



(註) 地方中央委員會、地方委員會及州委員會ハ今ヲ殆ント各地ニ設立セラレタルヲ以テ戰時貯金組合ハ殆ント凡テノ場合ニ於テ是等ノ委員會ヲ通シテ附屬セシメラル

少額投資者ノ出資額 (△ハ減ヲ示ス)

年	月	預金							郵便貯金		郵便貯金		郵便貯金		合計額		總計額		
		九	十	十一	十二	一	二	三	額	利	額	利	額	利	額	利	額	利	
一千九百十四年	八								△ 四、四一七、〇〇〇									△ 四、四一七、〇〇〇	
	九								△ 三、〇〇〇									△ 三、〇〇〇	
	十								△ 八三三、〇〇〇									△ 八三三、〇〇〇	
	十一								△ 一、三三七、〇〇〇									△ 一、三三七、〇〇〇	
	十二								△ 九九九、〇〇〇									△ 九九九、〇〇〇	
	一								△ 四、五〇〇、〇〇〇									△ 四、五〇〇、〇〇〇	
	二								△ 一、五二二、〇〇〇									△ 一、五二二、〇〇〇	
	三								△ 二、六四〇、〇〇〇									△ 二、六四〇、〇〇〇	
	四								△ 一、四四九、〇〇〇									△ 一、四四九、〇〇〇	
五								△ 一、六四七、〇〇〇									△ 一、六四七、〇〇〇		
六								△ 一、八八五、〇〇〇									△ 一、八八五、〇〇〇		
七								△ 一、〇五五、〇〇〇									△ 一、〇五五、〇〇〇		
八								△ 一、二五七、〇〇〇									△ 一、二五七、〇〇〇		
九								△ 一、八四四、〇〇〇									△ 一、八四四、〇〇〇		
十								△ 四、〇三七、〇〇〇									△ 四、〇三七、〇〇〇		
		合計額							合計額		合計額		合計額		合計額		合計額		
		△ 三〇、六一七、〇〇〇							△ 三〇、六一七、〇〇〇		△ 三〇、六一七、〇〇〇		△ 三〇、六一七、〇〇〇		△ 三〇、六一七、〇〇〇		△ 三〇、六一七、〇〇〇		

年	月	預金							郵便貯金		郵便貯金		郵便貯金		合計額		總計額			
		九	十	十一	十二	一	二	三	額	利	額	利	額	利	額	利	額	利		
一千九百十五年	八								△ 八〇五、〇〇〇									△ 八〇五、〇〇〇		
	九								△ 一、五六七、〇〇〇									△ 一、五六七、〇〇〇		
	十								△ 一、五〇〇、〇〇〇									△ 一、五〇〇、〇〇〇		
	十一								△ 一、二九〇、〇〇〇										△ 一、二九〇、〇〇〇	
	十二								△ 一、三三四、〇〇〇										△ 一、三三四、〇〇〇	
	一								△ 一、四九八、〇〇〇										△ 一、四九八、〇〇〇	
	二								△ 六二八、〇〇〇										△ 六二八、〇〇〇	
	三								△ 三六八、〇〇〇										△ 三六八、〇〇〇	
	四								△ 一、二〇四、〇〇〇										△ 一、二〇四、〇〇〇	
五								△ 四九九、〇〇〇										△ 四九九、〇〇〇		
六								△ 三六八、〇〇〇										△ 三六八、〇〇〇		
七								△ 二〇九、〇〇〇										△ 二〇九、〇〇〇		
八								△ 二〇九、〇〇〇										△ 二〇九、〇〇〇		
九								△ 一、三三三、〇〇〇										△ 一、三三三、〇〇〇		
十								△ 一、四九七、〇〇〇										△ 一、四九七、〇〇〇		
十一								△ 三三〇、〇〇〇										△ 三三〇、〇〇〇		
十二								△ 三〇六、〇〇〇										△ 三〇六、〇〇〇		
一								△ 五、九三三、〇〇〇										△ 五、九三三、〇〇〇		
二								△ 五、二七五、〇〇〇										△ 五、二七五、〇〇〇		
三								△ 五、六五二、〇〇〇										△ 五、六五二、〇〇〇		
四								△ 四、八七四、〇〇〇										△ 四、八七四、〇〇〇		
五								△ 五、五六七、〇〇〇										△ 五、五六七、〇〇〇		
六								△ 七、二八〇、〇〇〇										△ 七、二八〇、〇〇〇		
七								△ 一、三三三、〇〇〇										△ 一、三三三、〇〇〇		
八								△ 一〇、九一九、〇〇〇										△ 一〇、九一九、〇〇〇		
九								△ 一、三三七、〇〇〇										△ 一、三三七、〇〇〇		
十								△ 八、七七〇、〇〇〇										△ 八、七七〇、〇〇〇		
十一								△ 八、七〇七、〇〇〇										△ 八、七〇七、〇〇〇		
十二								△ 九、〇六八、〇〇〇										△ 九、〇六八、〇〇〇		
一								△ 七、六二七、〇〇〇										△ 七、六二七、〇〇〇		
二								△ 四、五〇〇、〇〇〇										△ 四、五〇〇、〇〇〇		
三								△ 九、七七一、〇〇〇										△ 九、七七一、〇〇〇		
		合計額							合計額		合計額		合計額		合計額		合計額			
		△ 三、七七一、〇〇〇							△ 三、七七一、〇〇〇		△ 三、七七一、〇〇〇		△ 三、七七一、〇〇〇		△ 三、七七一、〇〇〇		△ 三、七七一、〇〇〇			

ス	ツ	サ	ラ	オ	ノ	ノ	ノ	ノ	ミ	ロ	リ	ラ	ラ	ケ	ヘ	ヘ	ヘ	ハ	グ
マ	マ	マ	ツ	ク	ノ	ノ	ノ	ノ	ツ	ロ	リ	ラ	ラ	ケ	ヘ	ヘ	ヘ	ハ	グ
タ	マ	ロ	ツ	ク	ノ	ノ	ノ	ノ	ツ	ロ	リ	ラ	ラ	ケ	ヘ	ヘ	ヘ	ハ	グ
ツ	セ	ツ	ラ	オ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ
フ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ
スト	ブ	ド	ド	ツ	ド	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク

--- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | ---

二二 | 三三 | 一四 | 六四 | 三三 | 七七 | 九九 | 五二 | 四〇 | 一五 | 二一 | 六三

三十九

二二 | 二二 | 一五 | 七三 | 二八 | 一五 | 一六 | 三〇 | 七九 | 九六 | 二二 | 二六 | 二二 | 三三 | 一

四三 | 二五 | 一六 | 九一 | 八五 | 二〇 | 四三 | 三三 | 二九 | 三八 | 〇七 | 一三 | 三九 | 二八 | 三三 | 四一 | 五

エ	デ	ド	デ	デ	キ	コ	チ	キ	ブ	ベ	ベ	英	州	地方	地方	合
ツ	ユ	ル	ル	ル	ン	ン	ン	ン	ン	ン	ン	蘭	委	中	委	計
セル	セル	セル	セル	セル	セル	セル	セル	セル	セル	セル	セル	員	員	員	員	額
ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	ツ	會	會	會	會	
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	會	會	會	會	
ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	會	會	會	會	
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	合	合	合	合	
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	計	計	計	計	
ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス	額	額	額	額	

八二 | 二二 | 三三 | 八三 | 二一 | 一六 | 二

一五 | 三一 | 九七 | 二七 | 一六 | 一八 | 一八 | 四二 | 七七 | 七〇 | 六

二四 | 四四 | 一一 | 三二 | 二五 | 二二 | 一九 | 五四 | 一〇 | 九二 | 九

第二號表

一千九百十七年三月一日現在委員會一覽表

備考 四分五厘利付軍事公債ノ減少ハ證書引換支拂ノ結果ナリ

一千九百十四年八月ヨリ
 一千九百十六年十二月迄
 六、三三、〇〇〇
 三、九八、三〇〇
 四、三九、〇〇〇
 二、七、八二、〇〇〇
 一、八、一七、九、〇〇〇
 一、四、三、五九、〇〇〇
 三、一、四、三、八、〇〇〇

三十八

職工組合、同業者評議會、労働者評議會ノ代表員 五三四
 労働者團體、協力會、友誼協會等ノ代表者 一〇四一
 銀行業者 五三二
 會計士 五一
 他ノ専門家 三二四
 婦人(主トシテ教育家) 二、六二二
 政治俱樂部ノ代表員 三三八
 新聞社代表員 七五
 其他 三、七五八
 計 二〇、七七七

第四號表

一千九百十七年三月一日現在所屬貯金組合數及其ノ行動範圍ヲ示ス

州名	人口	商館	軍需品製造所	教會及日曜學校	學校	職工組合	友誼協會	其他	合計
ベツ	一九四、五八八	四一	三四	一九	三九	一	八	四五	一八六
英									
州									

ベア	二七、〇〇九	五六	八	二三	七四	一	三	六四	二二八
ブツ	二一九、五五一	三六	六	九	三六	一	二	四四	一三三
キヤム	一九八、〇七四	二〇	二	三八	八〇	一	六	六一	二〇三
チエ	九五四、七七九	一八八	三四	七八	二七九	一	七	七九	六六四
コーン	三二八、〇九八	一三	七	一八	一六六	一	四	四八	二五六
キヤム	二六五、七四六	五五	二	五三	一五二	一	四	九三	三三九
デ	六八三、四二二	一五四	二二	四四	二四三	一	四	六八	五三六
デ	六九九、七〇三	一二五	一四	四六	一五五	三	一〇	一五六	五〇九
ドル	二二三、二六六	二二	二	二八	六〇	一	一	四九	一六三
デ	一、三六九、八六〇	二三四	七三	七一	一七九	一〇	一〇	一三八	七〇五
エツ	一、三五〇、八八一	一三八	一七	五三	二四四	一	一	一六二	六三九
クロー	七三六、〇九七	二九〇	一七	七八	九〇	一	一	二四九	七二三
ハ	九五〇、五七九	二一八	四七	七八	二五三	一	一	二四九	八五八
ヘ	一一四、二六九	一	一	三	五	一	一	一四	二四
ヘ	三一、二八四	四七	五	三	二四	一	一	六五	一六五
ヘ	五五、五七七	一	二	四	九	一	一	七	二二
ケ	一、〇四五、五九一	二〇三	二二	七六	二〇五	一	一	二三四	七五六
ラン	四、七六七、八三二	一、三九八	二一八	三九九	九六六	一	一	六五五	三、六六四
ライ	四七六、五五三	二四八	二〇	二五	一〇〇	一	一	五三	四四八
リン	八二八、四八九	九二	四六	五八	二四九	一	一	一七四	六二二

ヨークス、ダアル、ユール	三、〇四五、三七七	八一〇	三八〇	三五五	一、〇三六	二	二二	四六四	三、〇六八
アングレ、セー	五〇、九二八	八一〇	三	一〇	一六	二	二	一七	四四
ブレック、ノック	五九、二八七	八一〇	一	一〇	一	二	二	二	四四
カー、デガ	五九、八七九	八一〇	六	一三	一〇八	一	二	一〇	一三八
カー、マーゼン	一六〇、四〇六	八一〇	二	二二	一三〇	一	二	一四	一八六
カー、ナヤボン	一一五、〇四三	八一〇	五	一一	二二	二	二	二二	六三
デ、シバ	一四四、七八三	八一〇	二	二六	二七	二	二	二二	八九
フリ、ン	九二、七〇五	八一〇	四	六	二	二	二	六	二〇
グラ、モルゲン	一一、二〇九、九一〇	八一〇	二	一〇〇	二二〇	二	二	一〇七	七二
メリ、オネ	四九、五六五	八一〇	五	三	三三	二	二	一一	五五
モン、マウス	三九五、七一九	八一〇	三	二二	八〇	二	二	三三	二二
モン、トゴメリ	五三、一四六	八一〇	五	六	二二	二	二	九	四二
ペン、プロク	八九、九六〇	八一〇	七	九	三三	二	二	七	五五
ラッド、ノール	二二、五九〇	八一〇	二	三	二二	二	二	三	二九
国民委員会直屬セル、ス コトランド愛蘭及在外國		八一〇	三	四	七	二	二	三	七四
合計		八一〇	一、七七一	二、六一九	七、九七七	二	二五九	五、八〇八	二六、五八四

ロンドン	四、五二一、六八五	一、四一一	九一七	一三二	一九六	二	二九	五二四	三、四六一
ミッドルセツクス	一、二二六、四六五	一九九	二七	六九	二一五	一	五	一四四	六六三
ノルフォーク	四九九、一一六	六〇	三	一八	六六	一	九	六七	二一五
ノルザン	三、四八、五一五	一七三	二八	二二	六六	一	九	八〇	四七八
ノーザンバーランド	六九六、八九三	一四〇	四〇	六〇	一一〇	一	六	一四六	五一一
ノッス	六〇四、〇九八	二七一	四	三九	二九四	二	二	九八	七〇八
オクスフォード	一九九、二六九	二二三	三	二二	四〇	一	二	四四	一三三
ラットランド	二〇、三四六	二	三	二	二	二	二	二	五
サロツ	二、四六、三〇七	四〇	七	二二	四七	二	二	四七	一六一
ソマセツト	四、五八、〇二五	八九	一一	三九	一一九	二	二	一九	三八九
スタツフスト	一、三四八、二五九	三〇七	一〇五	七八	三二九	二	八	一一八	九四五
サフオク	三、九四、〇六〇	九七	三二	三八	一九一	二	三	一一一	四八二
サレ	六六三、三七八	一〇六	一一	五三	一三八	一	二	一六七	四八一
サセツクス	八、四九、五七八	一〇二	一一	五三	一八一	一	二	一〇二	三五四
オワースタ	一、〇四〇、四〇九	一三三	六一	四三	一六〇	二	三	二〇九	六〇九
ウエストモアランド	六三、五七五	二八	四	七	四九	一	四	四九	一四五
ウイ	二八六、八二二	五八	八	三六	七〇	二	一	八八	二六一
オワセスタ	五二六、〇八七	九八	三	四〇	七九	二	四	八〇	四八〇
ヨークス、イー、アール	四三二、七五九	六二	一五	三六	九四	二	五	九〇	三〇一
ヨークス、エヌ、アール	四一九、五四六	三三	四	一九	三八	二	一	六三	一五八

第五號表

一千九百十六年十二月三十一日迄ニ發行セル戰時貯金證券ノ各種類別明細表

千九百十六年六月以前	一磅券		十二磅券		二十五磅券		自一千九百十六年四月九日迄至一千九百十九年六月三十日		五百磅券	
	通數	單位一磅	通數	單位一磅	通數	單位一磅	申込口數	單位一磅	通數	單位一磅
六月	三、〇八〇、四〇〇	三、〇八〇、四〇〇	四、六三三、五八四	四、六三三、五八四	五、六一九、〇二五	五、六一九、〇二五	四三三	七、四〇〇、四〇〇	三、二八六	一、六四三、〇〇〇
七月	六、七二九、九四五	六、七二九、九四五	二、五二二、二八八	二、五二二、二八八	三、九四九、九三三	三、九四九、九三三	四三三	七、四〇〇、四〇〇	八、五七三	四、二八六、〇〇〇
八月	一、二六七、九二一	一、二六七、九二一	五〇二、六五六	五〇二、六五六	七、九〇八、〇	七、九〇八、〇	一一、二三八	二、〇三四、三六五	九、一六九	四、五八四、五〇〇
九月	一、四〇〇、〇四五	一、四〇〇、〇四五	四七三、九〇四	四七三、九〇四	七、三、五一六	七、三、五一六	二〇、三〇九	三、三九八、七六六	六、一一〇	三、〇五五、〇〇〇
十月	一、三六五、七〇六	一、三六五、七〇六	四七二、六三六	四七二、六三六	七〇、五九六	七〇、五九六	一、四、五六八	二、五八四、四四九	三、七四二	一、八七、〇〇〇
十一月	一、〇二五、六一二	一、〇二五、六一二	二九〇、一六〇	二九〇、一六〇	九、九二、一五〇	九、九二、一五〇	一、四九八、四四八	一、四九八、四四八	三、三三三	一、六七六、五〇〇
十二月	一、〇五〇、二九三	一、〇五〇、二九三	二八五、五四〇	二八五、五四〇	九、七、七二七	九、七、七二七	一、四九五、一一三	一、四九五、一一三	三、六一三	一、三〇六、五〇〇
合計	九、八五九、八八三	九、八五九、八八三	三〇、三三三、八七六	三〇、三三三、八七六	四二九、九二七、一〇、七四八、七五	四二九、九二七、一〇、七四八、七五	七四、八五五	一、三六六、二三一	三六、八四五	一、八四二、五〇〇
六月以前	三、九六三、〇〇九	三、九六三、〇〇九	三、〇七三、三三二	三、〇七三、三三二	一、一、八〇三	一、一、八〇三	九、一四六、一一〇	九、一四六、一一〇	三、〇六二、一八五	八、八
合計	三、六二九、五六二	三、六二九、五六二	二、八二一、九一〇	二、八二一、九一〇	一一、四〇六	一一、四〇六	八、八三九、一三〇	八、八三九、一三〇	二、八〇四、〇七〇	二、八〇
於ケル	一磅單位ニ	戰時貯金證券ニ	對スル實際拂込	拂込額	シタル純殘額					

第六號表

通常經費

事務吏員俸給
代理委員及講演者ノ旅費及生計費
事務費車馬賃及郵税ニ對スル小口現金支出
設立員ノ俸給及費用

備考 之等ノ計數ハ第一號表計數ノ算出根據トハ少シク異ナルル根據ヨリ算出セルモノトス

一千九百十六年十二月三十一日迄ニ於ケル國民戰時貯金委員會ノ

七	八	九	十	十一	十二	合計
一、〇〇六、七、九四二	一、四三三、一、一五	九、二、四九一	五、六、七、三七〇	五、四三〇、〇九五	四、九八五、八二〇	五、四、四三〇、六〇四
七、八〇二、六五五	八、八六二、二二四	七、六二、三、一〇六	四、三九九、九六一	四、一〇八、三三三	三、八六四、〇一〇	四二、一八三、七一一
一、六、九六二	三〇、七四七	四八、九五三	八九、一五〇	七五、八九一	八五、九九〇	三七〇、九九一
一、一、四五二	二、三、八二八	三、七、九三二	六、九、〇九一	五、八、一五一	六、六、六四二	二、八、七、四四八
七、七、八九五、九一〇	八、八、三、八、三五	七、一、二、四、三七	四、三、三〇、八七〇	四、一、四、九、五〇八	三、七、九、七、三六八	四一、八、九、六、二六九
七、七、八九五、九一〇	八、八、三、八、三五	七、一、二、四、三七	四、三、三〇、八七〇	四、一、四、九、五〇八	三、七、九、七、三六八	四一、八、九、六、二六九

地方委員會ノ經費	一、二二四	四十八
同上(秋季運動)	六五	一〇六
國民經濟博覽會費用前拂金	一〇〇	〇〇
新聞廣告張札等	一五、三〇〇	三〇
合計	二八、四八六	六二
土木局		
土木局借入家財動産代金	二、四二五	〇〇
地代、租税及附加税	一、四七一	〇〇
累計	三、二三八二	六二
印刷局		
張札、引札、廣告類其他必需品代價(一部見積)	一、二、六二〇	〇〇
總計	四五、〇〇二	六二

第二章 戰時貯金組合規則

一、國民委員會ニ加入附屬スヘキコト

戰時貯金組合ハ規定ノ請求書ヲ以テ國民戰時貯金委員會以下國民委員會ト略稱スニ加入附屬ノ申込ヲ爲スコトヲ要ス國民委員會ニ於テ其ノ請求ヲ承認シタルトキハ加入附屬承認書ヲ之ニ交付ス

二、組合事務所ノ異動變更

戰時貯金組合ノ事務所ノ宛名ニ異動變更ヲ生シタル場合ニハ十四日間内ニ其ノ通知ヲ國民委員會ニ發スルモノトス若シ又其ノ組合カ地方中央委員會ヲ通シテ加入附屬セルモノナルトキハ其ノ通知書ハ之ニ對シテモ亦送付スルコトヲ要ス

三、組合ノ目的

貯金組合ノ目的ハ其ノ組合員ヲシテ單獨應募者ノ有シ得ヘキモノト等シキカ又ハヨリ以上ノ有利ナル條件ヲ以テ十五志六片ノ戰時貯金證券ヲ得セシムルニ在リ

四、組合員ノ資格

男女トモ何人ニテモ組合員タルコトヲ得ヘシ然レトモ一個人ニシテ五百通以上ノ戰時貯金證券ヲ所持スルコト能ハス組合員ハ無料ニテ通帳ノ交付ヲ受クルコトヲ得ヘシ組合ノ加入ハ大歳省カ戰時貯金證券ノ發行ヲ停止セントスル告示ヲ發スル迄ハ何時ニテモ之ヲ許スモノナリ

五、應募額ノ拂込

應募額ノ最少限ハ十五志六片トス應募額ノ拂込ヲ爲スニハ特別ナル證券引換券ヲ購入シ之ヲ引換券通帳ニ貼附スルモノトス證券引換券ニハ貯金組合ノ識別記號ヲ表象シアリテ組合若クハ其ノ代理集金者ノミヨリ之ヲ購入スルコトヲ得ルモノトス證券引換券ハ戰時貯金證券ノ流通ヲ無効ト爲スヘキ日以後ハ之ヲ發賣セサルモノトス

六、證券ノ分配交付

戰時貯金證券ノ分配交付ヲ爲スヘキ方法及時期ハ貯金組合ノ委員ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

七、現金拂戻

郵便局ニテ證券ニ對スル現金ノ支拂ヲ受ケ得ルニ至レルトキハ最早其ノ拂込現金ノ拂戻ヲ許サ、ルモノトス組合員カ其ノ組合ヲ脱退スル場合ニハ證券引換券通帳ニ於ケル十五志六片ヲ完成スルニ要スヘキ引換券ヲ書記ヨリ購入スルコトヲ許サルヘシ

八、委員及事務員

組合ノ委員、書記又ハ出納員ハ組合ノ附屬承認請求書ニ其者トシテ連署シタル人々ニ於テ之ヲ擔任スルコトヲ要ス委員又ハ書記若ハ出納員ニ欠員ヲ生シタルトキハ委員

會ニ於テ其ノ新任委員又ハ書記若ハ出納員ヲ任命スルモノトス其ノ任命ハ次回ノ組合員總會ニ之ヲ報告シ其ノ出席員ノ過半数ノ賛否ニ依リテ其ノ承認又ハ無効ヲ決定ス組合員總會ハ組合ノ委員又ハ書記若クハ出納員ヲ更迭スルノ權利ヲ有ス組合ノ委員又ハ書記若クハ出納員タルニハ必スシモ組合ノ加入員タルコトヲ要セス必要アル場合ニ於テハ委員會ハ書記ノ職務ノ或一部ヲ遂行セシムル爲單獨ノ代表書記若クハ合議ノ代理書記ヲ置クコトヲ得ヘク又之ヲ免職スルコトヲ得ヘシ

九、委員ノ職務

委員ノ職務ハ組合ノ業務及書記及出納員ノ執務ヲ總括監督スルニ在ルモノトス

十、書記ノ職務

書記ノ職務ハ國民委員會ノ定メタル方法ニ從ヒ一切ノ記簿計算ヲ記録スルト共ニ國民委員會カ其ノ貯金組合ニ對シ發行シタル證券引換券ヲ出納員ト共ニ受託保管スルニ在リ書記ハ時々其ノ受入レタル拂込金カ許スカ否ヤ最寄ノ便宜ナル郵便局ニ就キテ戰時貯金證券ノ相當數ヲ組合ノ名ヲ以テ購入シタル上之ヲ出納員ニ交付スルヲ要ス書記ハ郵便局ノ定ムル方法ニ依リ給付請求權ヲ有スル組合員ニ對シ戰時貯金證券ヲ適當ナル時期ニ交付スヘキ一切ノ必要ナル措置ヲ取ルモノトス

十一、出納員ノ職務

貯金證券ヲ受託保管シ書記ト共同シテ規則第十六號ニ定ムル職務ヲ遂行スルハ出納員ノ任務ニ屬ス出納員ハ各週集金員ノ計算書及引換券ノ現在高並ニ現金及證券ヲ對照調査シ書記ト共ニ國民委員會ニ對スル報告書ニ署名ス

十二、取扱費

組合ノ事務ハ任意的ニ無報酬ニテ取扱フヘキモノトス國民委員會ハ證券引換券、引換券帳、證券登記簿、出納簿ヲ無料ニテ供給ス交付ヲ受ケタル證券引換券ハ一切國民委員會ニ對シテ其ノ支出ノ計算ノ責任ヲ負フモノトス

十三、組合書類ノ閱覽公開

組合附屬請求書ノ寫本ニ戰時貯金證券ヲ添屬セルモノ、組合ニ關スル諸規則ノ寫本、最近ニ検査ヲ經タル計算書類及會計検査員ノ報告書ヲ組合ノ事務所ニ備付ケ組合員ノ見易キ場所ニ之ヲ公開シテ閱覽セシムヘキモノトス

十四、會議

組合ノ委員會ハ何時ニテモ組合員總會ヲ組合事務所又ハ其他ノ場所ニ召集スルコトヲ得ヘシ組合員總會ニ於テハ其ノ會長ハ常ニ委員長之ニ當ル若シ委員長不在ノ場合

ニハ會議ヲ召集シタル者ニ於テ之ニ代ハルモノトス委員會ハ又組合員二十人以上ヨリ連署シテ會議ニ附スヘキ業務ノ處理ノ種類ヲ示シテ總會召集ノ要求ヲ受ケタルトキハ上記ノ方法ニ依リ組合員總會ヲ召集スヘキモノトス若シ委員會ニ於テ之ヲ召集セサルトキハ其ノ要求ヲ爲シタル組合員ニ於テ之ヲ召集スルコトヲ得ヘシ

十五、會計検査

組合ノ帳簿及計算書類ノ検査ハ每三ヶ月地方中央委員會ノ任命シタル二名ノ會計検査員ニ於テ之ヲ執行ス若シ地方中央委員會ニ於テ検査員ヲ任命セサルトキハ組合ノ委員會ニ於テ之ヲ任命スルコトヲ得ヘシ此ノ検査員ハ組合ノ委員會又ハ事務員ヲシテ之ニ當ラシムルコトヲ得ス検査員ハ國民委員會ノ發セル規定ニ從ヒテ會計検査ノ事務ヲ取扱フヘキモノトス

十六、爭議ノ裁決

組合員又ハ組合員タリシ者及之等ノ者ニヨリテ又ハ組合ノ規則ニ基キテ組合ニ要求スル權利ヲ有スル者ト組合及其ノ職員トノ間ニ於ケル爭議ハ先ツ第一ニ組合ノ委員會ノ裁決ヲ得ヘキモノトス組合委員會ノ決定ニ不服ナル者ハ國民委員會ニ書面ヲ以テ訴願スルコトヲ得ヘク國民委員會及國民委員會カ其ノ審判ノ爲ニ命シタル委員ノ

裁判ハ一切ノ當事者ヲ拘束シ最早之ニ關シテ訴訟ヲ爲スコトヲ得サラシム組合ハ其ノ委員及事務員ヲシテ繫争事件ノ裁決ニ必要ナルヘキ一切ノ書類ニシテ其ノ所持又ハ管理スルモノ及ヒ事件ニ關スル一切ノ報告ヲ國民委員會又ハ其ノ任命シタル委員ニ回付セシムヘキ義務ヲ有ス

十七、規則ノ變更

此等ノ規則ハ規則ノ改正ヲ目的トシテ召集シタル會議ニ出席表決スル組合員ノ過半數ノ決議ニヨリテ之ヲ變更スルコトヲ得ヘク規則ノ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ改正規則ノ複本ヲ三日内ニ國民委員會ニ對シ書記ヲシテ送付セシム而シテ其ノ改正ハ國民委員會ノ認許ヲ受ケタル後ニアラサレハ其ノ効果ヲ生セサルモノトス

十八、組合ノ解散

戰時貯金證券ノ發行ヲ停止スヘキ時期以後三ヶ月ニシテ貯金組合ハ解散スヘキモノトス組合ヨリ購入セル引換券ニヨリテ代表セラル、戰時貯金證券ニ對スル拂込金額カ十五志六片ニ達セル組合員ハ組合解散前ニ要求スルトキハ其ノ拂込金額ノ現金拂戻ヲ受クルコトヲ得ヘシ

十九、國民委員會ノ權力

國民委員會ハ各貯金組合ノ總會ヲ召集スルコトヲ得ヘシ又組合及組合ノ一員ニ屬スル證據書類ヲ檢閲ノ爲メ提出シムルコトヲ得ヘシ而シテ組合ノ書記ハ國民委員會ノ要求スル報告書ト共ニ其ノ證據書類ヲ送付スヘキ義務ヲ負フ

國民委員會ハ又或一人若ハ數人ニ命シテ組合ノ帳簿記錄ヲ檢査シ其ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得ヘシ組合ノ委員及事務員ハ其ノ檢査ヲ容易ナラシムヘキ一切ノ便宜ヲ與フルト共ニ檢査ヲ行フ者ノ要求ニ應シ一切ノ必要ナル事項ヲ通告スルコトヲ要ス組合ノ委員及事務員ハ組合事務ノ執行ニ關シ國民委員會カ發シタル指命ヲ直ニ遵奉セサルヘカラス若シ之ニ從ヒ難キトキハ其ノ理由ヲ開示シテ國民委員會ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第三章 戰爭ト米國郵便貯金

一、郵便貯金

千九百十五年會計年度ニ於ケル郵便貯金ノ報告ニヨレハ預金者數並ニ預金額ハ此制度開始以後最モ増加セリ戰爭ニヨリ齎ラセラレシ狀況ハ著シク貯金事業ニ有利ナリシノミナラス此事業ハ益々公衆ノ信用ヲ博シ又事實公衆カ其利益ニ注意セシ際ニハ

既ニ明ニ一般公衆ヨリ利用セラレツ、アリ

千九百十五年六月三十日現在預金者數ハ五十二萬五千四百十四人ニシテ同年中ノ増加數ハ十三萬六千九百三人即三五、二パーセントナリ

預金者ノ預入總額ハ六千五百六十八萬四千七百八弗ニシテ同年中ノ増加ハ二千二百二十四萬四百三十七弗即チ五一、二パーセントナリ

多數ノ市府ニ於ケル事務ノ増加ハ稀有ノコトニ屬シニユーヨーク市ニ於テハ預入ハ一九九、四パーセントヲ増シブリッヅホルトニ於テハ一八八、三パーセント、ブルックリンニ於テハ一六七、二パーセント、バタースンニ於テハ一六二、一パーセント、シャーセイ

市ニ於テハ一二二、一パーセント、デトローストニ於テハ一一二、二パーセントヲ増加セリ大預金アリタル右以外ノ十二局ニ於ケル増加ハ五〇パーセントヨリ一〇〇パーセントニ及ブ

千九百十五年六月三十日作成セシ郵便貯金預金者生地別表ノ編纂ハ注意スヘキモノアリ

預金者總數中

五八、七パーセントハ合衆國外ニ生レ其預金額ハ四千七百十六萬千六百二十

一弗ニ達シ全預金額ノ七一、八パーセントヲ占ム

其ノ細別ヲ示セハ(一)露國生レノモノ、預金ハ總預金ノ二〇、七パーセントヲ占メ、(二)伊太利生レハ一四、二パーセント(三)英並ニ其ノ殖民地生レハ八、八パーセント(四)奧國生レハ八、七パーセント(五)洪甸利ハ四、三パーセント(六)獨逸ハ四、一パーセント(七)瑞典ハ二、二

パーセント(八)希臘一、八パーセントヲ占ム

郵便貯金事務ハ成功セシト雖トモ尙公衆ニ對シ極度ノ利便ヲ與ヘシトハ云フ能ハス最近會計年度末ニ於テ郵便貯金者全數ノ五四、四パーセントノミカ五百弗ノ預金制限額ヲ有シ、而シテ現行ノ制度ノ下ニアリテハ其ノ以上ノ預金制限額所有者ヲ得ルコト難ク尙其ノ中制限額所有者七三パーセントハ外國生レノモノナリ

現行預金制度ハ同國ニ於テ新ニ設置セラレタルモノナルカ故ニ少シク慎重ニ過クルノ虞アリ、公衆ハ此制限ノ擴張ニヨリ、利益ヲ受クルコト多大ナルヲ知リ郵政廳ハ其最近年報ニハ添書ヲ付シ一曆月中一預金者ヨリノ預入制限額(百弗迄)ヲ廢シ其ノ制限額ヲアル條件(千弗以上)ノ金額ニ對シテハ超過額ニ對シ利子ヲ附セスヲ附シ二千弗ニ高ムルコトヲ記ス

千九百十一年郵便貯金制度カ米國ニ於テ開設セラレシ前ニ於テハ公衆ハ多數ニ多額

ノ郵便爲替ヲ貯蓄ノ爲メニ購入セリ

郵便貯金法制定中材料收集ニ當リ千九百七年三月一日ヨリ滿一ケ年間ニ一二等郵便局ニ於テ購入セラレシ爲替ノ價格ハ八百萬弗餘ナリシコトヲ確メラル
郵便貯金制度ノ發達ハ右ノ如キ爲替ノ購入ヲ要セサラシメシカ昨會計年度中ニ於テハ再ヒ爲替ハ多額ニ購求セラレ長時間保有セラル、コト明トナレリ
政府ニ其ノ貯金ヲ預入シ銀行制度ヲ利用セサル階級ノ人々ハ再ヒ從前ノ如ク貯金用トシテ爲替ヲ購求セリ郵便局長ハ右ノ如キ現象ニ對スル原因ノ説明トシテハ貯金預入額ノ現在制限アルカ爲ニ止ムヲ得ス爲替ヲ貯金用トシテ使用セルナリト云フ
公衆ノ欲スル所ニシテ又郵便貯金制度ノ目的タル安全ヲ求ムル爲ニハ公衆ハ五百弗ノ預金制限額ニ達セシ時ハ已ムヲ得ス百弗ノ爲替ニ對シ三十仙ノ手数料ニテ購フ之レ公衆ニトリ必要ナキ費用ナルノミナラス此行動ハ商業ノ市場ニ於ケル資金ノ回收ヲ來サシム故ニ爲替資金ヲ利用スル能ハサルノミナラス經濟上ノ浪費ナリ但シ郵便貯金資金トシテ預入スレハ經濟上利益ナルコト云フヲ俟タス
二、郵便貯金資金ニ對スル保證トシテ提出セラレシ公債ヲ適法

ニ受納シウルコトヲ定ムルコトニ付テ

同年中郵便貯金ニ對スル保證トシテ銀行ニヨリ提出セラレシ國債州債市債中九百九十萬五千五百四十五ドルハ其ノ適法ナル受納ニ關スル試驗トシテ請願者ニ送金セラル

如斯公債ノ認可セラレシ數ハ八百二十二萬ドル以上ニシテ千九十三件ノ振出アリ總合計四億四千五十八萬七千ドルトナル而シテ斯ル公債ニシテ不適法ニ受納セラレタルモノハ一千萬弗餘ニシテ七十一件ノ振出アル總合計一億二千七百六十七萬ドルトナル

斯ル試驗ノ進行中ニ行ハレシ研究ニヨリ郵便貯金制度委員會ニ於テ著ハサレシ狀態ヲ發達セシメタリ

委員ハ疑ハシキ價格ノ保證ヲ除去スル目的ヲ以テ郵便貯金法ノ提出セラレシ目的ニ從ヒ規則ニ重大ナル改正ニ加フ

保證トシテ送金セラル、公債ノ振出ニ郵便貯金ヲ應用スルコトカ實際ニ市債ノ募集ニ權能ヲ與フル基礎的規則並ニ終極ニハ其安全ニ影響スヘキ發達セル狀態ニ一般的變更ヲ起サシム斯ル方法ハ郵便貯金ニ對スル保證トシテノ公債ノ投資價值ニ對シ關

係ヲ有スルコト明ナリ

第四章 ボスニアヘルヂェゴビナ

郵便貯金(一九一六年四月號)
ユニオンホスタル所載

左ニ掲クル所ハボスニアヘルヂェゴビナ貯金局ヨリ發行セシ千九百十四年ノ郵便貯金報告書ヨリノ拔萃ナリ戰爭ノ貯金事業ニ影響セシコトハ當然ナリト雖モ貯金ノ財政上ノ成績ハ良好ナリキ

第一貯金

預金者數ハ千九百十三年ニハ一萬一千三百七十七人ナリシカ千九百十四年ニハ一萬一千八百九十三人ニ増加シ預金總額ハ八十一萬二千七百八十二圓(一クローンヲ四十錢ニ換算ス以下同シ)ニ達セリ
千九百十三年末現在預金高ハ四十五萬一千六百五十九圓ナリシカ千九百十四年ニハ四十七萬千六百八十八圓ニ達セリ(但シ其ノ内一萬四百二十一圓ハ利子ノ總計ナリ)
同年末使用中ノ貯金通帳中六千四百九十四冊ハセルビアクロイチアン語ニテ發行セラレ(五千三百八十一冊ハラテン文千百十三冊ハシリリツク文)五千三百九十九冊ハ獨

逸語ニテ發行セラレ

次ニ千九百十四年末職業別預金者數ヲ示ス

職業	數	割合	職業	數	割合
小學校兒童	一、二五七	一一、七五五	職工技手	一、〇七四	九、〇三一
私學兒童	二、七四九	二五、一一五	商業使用人	二五六	二、一五二
女子	六三五	五、三三九	工手	六七	〇、五六三
店員	四四二	三、七一一	家主僕	六四八	五、四四九
牧師	九七七	八、三三三	地主	一〇一	〇、八四九
兵士	三七	〇、三一	農家	二五九	二、一七八
教士	二、一九九	一八、四九〇	會社	二三八	二、〇〇一
辯護士	一一二	〇、九四二	其他	一六一	一、三五四
醫師	六二	〇、五二一	合計	一一、八九三	一〇〇、〇〇〇
商人	三三九	二、八五〇			

同年中取扱事件數ハ五萬五千四百七十二件金額百五十八萬八千三百七十九圓ニシテ其ノ内預金數ハ三萬九千八十五件(即七〇、四六、パーセント)支拂數ハ一萬六千三百八十七件(二九、五四、パーセント)預金高八十一萬二千七百八十二圓支拂高七十六萬四千四百

七十四圓ナリ故ニ預金ノ支拂ニ超過セシ額ハ四萬八千六百八圓ニシテ同年中ノ資金増加額ハ右金額ト預金者ニ支拂フヘキ利子一萬千四百二十一圓トノ合計六萬二十九圓ナリ同年末預金者ニ處屬スヘキ金額總計ハ五十一萬千六百八十八圓ナリ(前年末ニハ四十五萬千九百圓ナリキ)

第二、振替貯金

振替貯金ノ成績モ亦凡テノ點ニ於テ好良ナリ

振替口座數ハ前年ニハ千三百七十五件ナリシカ千九百十四年ニハ千六百七十六件ニ達シ口座加入者ノ預入總額ハ二百三萬九千二百五十六圓ヨリ五百七十二萬八千九十八圓ニ上レリ

千九百十四年中ノ取扱件數ハ五十七萬千十六件取扱金高ハ六百六萬六千六百九十五圓ニシテ一日中ノ最高取扱件數千八百二十四件最高金高九十七萬七千八百四十九圓ナリ預入高ハ一億五千四百八十一萬七千八百八十二圓支拂高ハ一億五千百十八萬八千四百八十八圓ニシテソノ差額ハ三百六十二萬九千三百八十四圓ナリ

第三、公債

公債事業ニ於テハ前年ハ六十九冊ノ通帳發行セラレシカ同年ニハ九十八冊發行セラ

レ、全拂通帳數ハ前年ニハ八冊同年ニハ十七冊ニシテ年末現在通帳數ハ百四十二冊ナリ千九百十三年末預入公債ノ券面額總計ハ九十三萬四千百十二圓ニシテ千九百十四年中新ニ預入セラレシ公債ハ二十三萬八千四百二十三圓公債支拂高ハ一萬五千五百二圓其ノ差額ハ二十二萬七千三百二十一圓ナリ而シテ千九百十四年十二月三十一日現在預入公債券面額合計ハ百十六萬百十四圓ナリ、年末迄ニ振替口座加入者ノ所有ニ移サレシ公債ハ券面額十四萬二千二百八十一圓ナリ、同年中貯金局ニ於ケル取扱數二千六百五十七件ニシテ郵便取扱數ハ七千七百七十六件ナリ

第四、職員

千九百十四年十二月三十一日現在貯金局職員ハ官吏雇員ヲ合セ五十五人ニシテ其ノ細別ハ左ノ如シ

官吏	十八人	女子書記	五人
補助員	四人	他ノ雇員	二十八人

第五、收入

貯金局收入ハ十二萬七千七百七十五圓、支出ハ八萬三千九百三十五圓ニシテ支出ニ對スル收入過剩額ハ四萬三千八百四十圓ナリ

「ボスニヤヘルゼゴビナ」ノ郵便貯金（千九百十七年九月號）
ユニオン・ホスター所載

千九百十四年ニ於ケル取扱高ハ金額三百九十七萬九百四十四「クラウン」口數五萬五千四百七十二口ナルニ對シ千九百十五年ニ於テハ其ノ金額三百七十七萬三千八十四「クラウン」口數三萬六千二百三十九口ナリトス、夫等口數中二萬七千二百五十三口即チ七五「パーセント」ハ預金ニシテ八千九百八十六口即チ四「八」パーセントハ拂戻ナリトス預金者人員ハ千九百十四年ニ於ケル一萬一千八百九十三人ヨリ一萬二千五百五十一人ニ上リ即チ前年ニ比スレハ六百五十八人ノ増加ナリトス、本年末現在貯金通帳中七千四百四十一冊ハ「サーピアン、グロアチアン」語ニテ發行シ又五千四百十冊ハ獨逸語ニテ發行サレタリ

預入金ハ二百四萬五千二百四十三「クラウン」及拂戻金ハ百六十八萬七千六百四十四「クラウン」ニ達シ預入金額ノ拂戻金額ニ超過セルコト三十五萬七千五百九十九「クラウン」ナリトス、而シテ此ノ金額ニ對シ預ケ人ニ附與セル利子額四萬九百九十六「クラウン」ヲ加算スルトキハ總額三十九萬七千七百九十五「クラウン」ヲ得ルコト、ナリ此ノ金額ハ千九百十五年ニ於ケル資金ノ増加ヲ表ハスモノナリ、本年末ニ於テ預入金ノ總計ハ百六十

七萬七千十六「クラウン」ニシテ之ニ對シ千九百十四年即チ昨年末ハ百二十七萬九千二百二十一「クラウン」ナリキ

千九百十四年ニ於テ千六百七十六ナリシ小切手勘定口ハ千九百十五年ニ於テ千六百八十二ニ増加シ口座所有者ノ預金額ハ同シク千四百三十二萬二千四百四十「クラウン」ヨリ千四百六十萬六千四百七十一「クラウン」ニ増額セリ、千九百十五年ニ於ケル取扱高ハ金額合計十億二千百十五萬二千九百一「クラウン」口數四十六萬二千五百五口ニシテ一日平均金額三百二十七萬二千九百二十六「クラウン」口數千四百八十二ノ割合ナリ、而シテ預金ハ五億一千四十五萬八千九百二十八「クラウン」拂戻金五億一千四十三萬四千四百三十五「クラウン」ニ達シ預入金ノ拂戻金ヲ超ユルコト二萬四千四百九十三「クラウン」ニ上レリ、證券事務ニ於テハ通帳ノ發行高ハ前年ノ百六十七ニ對シ三百七十七ナリトス、一方ニ於テ終了通帳數ハ前年ニ於テ二十五ナリシモ本年ハ十四ナリ、千九百十五年未ニ於テ開始セル通帳數ハ五〇五ナリ、千九百十四年末ニ於テ寄託證券ノ額面價格ハ二百九十萬二千七百八十四「クラウン」ナリキ、千九百十五年ニ於テ總額八十八萬二千二百四十一「クラウン」ノ新證券寄託サレ同シク五萬七千七百「クラウン」ノ證券引出サレタリ、而シテ預入ハ拂戻ヨリモ八十二萬五千四百一十一「クラウン」ヲ超過セリ、千九百十五年十

二月三十一日ニ於テ寄託證券ノ額面價格ハ三百七十二萬七千九百二十五クラウンナリキ而シテ同日迄ニ額面三十六萬八百二クラウンノ證券ハ小切手口座所有者ニ發送サレタリ

郵便貯金ノ收入ハ五十三萬九千七百八十六クラウン又支出ハ二十三萬千六百七十九クラウンニシテ收入ノ支出ヲ超過スルコト三十萬八千七百七クラウンナリキ

第五章 亞然的音共和國ニ於ケル郵便(「ユニオン、ポスト」所載 千九百十七年五月號)

亞然的音ニ於ケル郵便貯金業務ハ千九百十五年四月五日開設セラレタリ。今之カ設立ニ關スル法律及關係施行規則中ヨリ左ニ主要ナル諸規定ヲ披萃セン

郵便貯金業務ハ内務省ノ管轄ニ屬シ、貯金局長、通信局長、教育院總裁、勞働院總裁及國立銀行代表者一名ヲ以テ組織スル管理委員會之ヲ管理ス。貯金局長ハ管理委員會長ノ職務ヲ執リ、監理總長ハ幹事ノ職務ヲ行フ。管理委員會ハ會計検査院ヲ經由シ貯金取扱狀況ヲ年四期ニ大藏省ニ報告スルヲ要ス

貯金事務ハ政府ノ認可ヲ經テ管理委員會ノ指定スル共和國郵便局ニ於テ之ヲ取扱フ。委員會ハ又工場組合會社及企業ノ管理者並總テ多數ノ事務員職工ヲ使役スル事業ノ

支配人ニ貯金局ノ代理人トシテ職務ヲ行ヒ郵便局ト同様ノ貯金取扱ヲ爲スコトヲ許可スルコトヲ得

中央貯金局ハ無償ニテ貯金通帳ヲ發行シ各預ケ人ニツキ當座勘定口座ヲ開設ス。新規預入ハ國貨五百ペソヲ超過シ又一「ペソ」未滿タルヲ得ス。第二回以後ニ在リテハ一日五「ペソ」以上預入スルコトヲ得ス。但シ預入ト預入トノ間ニ一日以上經過シタルトキハ最後ノ預入以降經過シタル日數ニ應シ百五十「ペソ」ヲ超過セサル範圍ニ於テ、其ノ日數ニ五「ペソ」ヲ乘シタル額迄ハ之ヲ預入スルコトヲ得。預ケ人一人ノ貯金總額カ三千「ペソ」ヲ超ユルトキハ超過額ニ對シテハ利子ヲ附セサルモノトス

一部拂戻ハ五十「ペソ」迄ハ請求後八日以内ニ、百「ペソ」迄ハ十五日以内ニ拂戻サル。但シ絶對必要ノ場合ニハ管理委員會ハ前記金額ヲ超過スル金額ト雖右期間内ニ之カ一部拂戻ヲ許可スルコトヲ得。拂戻請求ハ特定ノ式紙ヲ以テ之ヲ爲スヲ要ス。該請求書ハ貯金取扱局ヲ經テ之ヲ中央貯金局ニ送付ス。拂戻請求ハ又電信ニ依リ爲スコトヲ得。拂戻認可書ハ十五日間有效ナリ

共濟組合慈善團體職業組合及之ニ類似スル組合ノ代表者ニ於テ爲ス預拂金額ハ個人ニ對シ定メラレタルモノ、二倍迄之ヲ許可ス。此種組合ノ爲ニ發行スル通帳ノ總金額

ハ二萬ペソヲ超過スルコトヲ得ス

第二回以後ノ預入ハ中央貯金局ノ發行スル「一ペソ」「三ペソ」「五ペソ」「十ペソ」「三十ペソ」及「五十ペソ」ノ貯金切手ヲ以テ之ヲ爲スヲ要ス。各切手ハ三片ヨリ成リ、一片ハ貯金通帳ニ之ヲ貼附シ、一片ハ預入取扱局ヨリ中央郵便局ニ之ヲ送付シ、他ノ一片ハ關係局ノ預入簿ニ貼附ス

一「ペソ」迄ノ預入ニツキテハ一枚五「セント」ノ定價ニテ中央貯金局ノ發賣スル貯金臺紙ヲ使用スルコトヲ得、公衆ハ臺紙一枚ニ付「一ペソ」ニ達スル迄之ニ十「セント」及五「セント」ノ通常郵便切手ヲ貼附ス。預入金額ハ第二回以後ニ於ケル通常預入ト同様貯金切手ヲ以テ之ヲ表示ス。郵便切手ヲ貼附シタル臺紙ハ燒棄スル爲メ一週一度其ノ受理局ヨリ中央貯金局ニ之ヲ送付ス。同一預ケ人ハ一週中貯金臺紙五枚以上ヲ預入スルコトヲ得ス

預ケ人ニ支拂フヘキ利率ハ年二分ヲ下リ又ハ國立銀行カ貯金通帳ニ對シ支拂フ利子ヲ超過スルヲ得ス。利率ハ毎年管理委員會ノ提議ニ基キ政府之ヲ定ム。利子ハ預入ノアリタル半月ノ次ノ半月ノ第一日以降之ヲ計算シ拂戻ノアリタル半月ノ前半月ノ最終日ニ止ム。半月ハ各月ノ一日及十六日ニ始マルモノトス

貯金通帳ハ有夫ノ婦及年齢ニ關セス總テノ未成年者ノ爲ニ之ヲ設クルコトヲ得。有夫ノ婦ハ其ノ夫ノ參加ナク其ノ預金額ヲ拂戻スコトヲ得。十六歳以上ノ未成年者ハ一年五十「ペソ」迄ハ自由ニ之ヲ拂戻スコトヲ得。レトモ之ヲ超過スル金額ニツキテハ法定代理人ノ承諾ヲ必要トス。同一人ハ二冊以上ノ貯金通帳ヲ所持スルコトヲ得ス。

貯金通帳ハ利子記入ノ爲一年一回之ヲ中央貯金局ニ送付スルコトヲ要ス。十年間一回ノ取扱モナキ貯金通帳ニハ何等利子ヲ附セス

尙爾後二十年間此等口座ニ何等ノ取扱モナキトキハ之ヲ閉鎖シ其ノ預金額ハ國庫ニ歸屬ス

毀損汚班シタル通帳ハ預ケ人ヨリ二十五「セント」ヲ徴シテ再度通帳ヲ交付ス。亡失又ハ盜難ニ罹リタル通帳ニ付テハ中央貯金局ニ通知後三十日ノ期間滿了後再度通帳ヲ交付ス

貯金局ノ資金ハ國立銀行ニ之ヲ預入ス。預金ノ八割五分ハ公債及國家ノ保證スル勸業債券ニ投資シ一割五分ハ國立銀行ノ當座預金トシ預金事務ノ必要ニ備フ。貯金局ハ貯金取扱ニ依ル利益金ヲ以テ準備基金ヲ調達ス。該基金ハ公債ニ放資スルヲ要ス。然レトモ貯金局ノ利益ノ三分ハ通信吏員ノ救濟基金ニ之ヲ使用スヘキモノトス

國家直轄ノ小學校及其ノ補助小學校ニ於テハ一週一時間ヲ一般貯金、殊ニ郵便貯金ノ利益ノ講話ニ充ツルヲ要ス。管理委員會ハ又特殊ノ方法ヲ以テ其ノ會員ニ貯金制度ヲ周知セシメタル共濟組合又ハ他ノ慈善團體、職業組合等ノ代表者ニ獎勵金ヲ給與スルコトヲ得

千九百十五年度自四月五日至十二月三十一日(亞然的音共和國郵便貯金取扱狀況報告書ニ依ルニ預ケ人員ハ年末ニ於テ七萬五千七百十二人其ノ預金額ハ二百十六萬七千四百五十三「ペソ」ヲ示セリ。預ケ人ノ八割ハ亞然的音人ニシテ外國人ハ僅カニ其ノ二割ナリ。事業費ハ二十萬一千九百三十四「ペソ」ニ達セリ

註一「ペソ」||約我一圓九十四錢

第六章

埃及、新西蘭
「モザムビーク」
蘭領東印度

貯金郵便

(「ユニオンポスト」
千九百十七年五月號所載)

一、埃及及ニ於ケル郵便貯金業務ハ千九百十四年及千九百十五年中、戰亂ノ爲、多大ノ影響ヲ蒙リ預ケ人員及預金額(千九百十五年ニ於テ較増加シタルモ)ハ左表ニ示ス如ク減少セリ。蓋シ是ハ戰亂ノ當初預ケ人危懼ヲ懷キ一時ニ其ノ貯金ヲ拂出セシニ基

因スルモノニシテ爾後漸次公衆ノ信用回復セシヲ以テ千九百十五年ニ於テハ預金總額較増加ヲ示シ同年八月ノ如キハ預入額再ヒ拂戻額ヲ超過セリ

區別	千九百十三年末	千九百十四年末	千九百十五年末
預ケ人員	二十八萬二千四百一人	二十三萬三千七百四十四人	十九萬八千八百四十二人
預金總額	六十四萬二千六百七十八	四十六萬六千七百九十七	四十八萬五千零八

村落貯金激減シ村落貯金支局ニ於ケル取扱口數ハ

千九百十四年ニ於テ

一萬六千九百二十口

千九百十五年ニ於テ

一萬三千二百七十一口

ヲ減セリ。當局者ハ村落貯金カ未タ初期ノ時代ニ在ル際ナルヲ以テ殊更此ノ激減ニツギ痛心セリ

之ニ反シ兒童貯金ハ引續キ好成绩ヲ舉ケツ、アリ。兒童ニ對シ交付シタル新規通帳ハ

千九百十四年ニ於テ

二千二百七十四冊

千九百十五年ニ於テ

三千八百八十一冊

ニ上レリ

二、新西蘭、千九百十五年ニ於ケル預ケ人員及預金額ハ

預ケ人員 五十萬九千八十五人(千九百十四年初頭四十八萬三千二百六十二人)

預金額 二千二百六十六萬六千三百六十五磅(千九百十四年初頭一千九百四萬八

千二十九磅)

ニシテ前年ニ比シ非常ノ増加ヲ示シ貯金局創設以降同年ニ於ケル如キ比例ヲ以テ預入額ノ激增シタル例ナク預ケ人一人當リ平均預金額ハ千九百十五年末ニ於テハ、千九百十四年十二月三十一日ニ於ケル三十九磅八志四片ヨリ一躍シテ四十三磅十志十片ニ上レリ。毎百磅ノ事業費及取扱一口ニ對スル經費ハ左ノ如ク低下セリ

區	區	千九百十四年	千九百十五年
預金額ニ對スル每百磅ノ事業費	十六片	十四片	
取扱一口ニ對スル經費	四片六七	四片四二	

千九百十五年中ニ於ケル新西蘭大英國間郵便貯金移替金額ハ

四萬一千百五十磅(千九百十四年四萬九千八百四十五磅)

ニシテ濠洲聯邦トノ移替金額ハ

十萬一千三百七十三磅(千九百十四年十三萬二千七百三十八磅)

ナリ

三、「モザンビーク」、「モザンビーク」葡萄牙殖民地ニ於ケル郵便貯金ハ千九百十三年及

千九百十四年ニ於テ長足ノ進歩ヲ遂ケタリ。左ニ兩年度比較統計表ヲ掲記セン

區別	千九百十三年	千九百十四年
預入口數	五千六百四口	六千八十五口
預金額	二十九萬七千七百七十八「エスキュード」	三十六萬四千五百八十九「エスキュード」
拂戻口數	三千三百二十五口	四千三百五十六口
拂戻金額	二十一萬五千八百七十三「エスキュード」	三十一萬六千九百三十三「エスキュード」

千九百十四年十二月三十一日現在貯金通帳 二千五百五十七冊

區別	千九百十三年	千九百十四年
預金總額	二十七萬四千四百四十四「エスキュード」	三十二萬七千九百七十八「エスキュード」
預ケ人一人當	百十六「エスキュード」七八	百四十一「エスキュード」四三
取扱一口ノ平均費用	二十「センタヴオ」	十四「センタヴオ」

千九百十四年十二月三十一日ニケル元加利子 七千八百八十一「エスキュード」
 同 年中預ケ人ニ支拂ヒタル元加利子 一千百九十八「エスキュード」
 千九百十四年末貯金局準備基金 二百六十一金貨磅
 (約二千五百四十八圓)

貯金局ノ處分シ得ヘキ資金ハ外國公債及地方債ニ之ヲ放資ス、貯金局ハ又殖民地官吏(文武官、僧侶)ニ對シ貸附ヲ爲スコトヲ得。本貸附ノ利率ハ所謂危險率(Premio de risco)ヲ加算シテ年六分トス

此種貸附ハ千九百十四年十二月三十一日ニ於テ
 一萬七千五百五十八「エスキュード」
 ニ達セリ

四蘭領東印度(千九百十五年度預ケ人員千九百十五年末ニ於テ
 十三萬九百九人、千九百十四年末十二萬二千四百二十九人)
 ニシテ預ケ人全體ニ對スル人種別割合ハ前年ニ比シ左表ノ如ク歐洲人ニ於テ減少
 シ、蘭領東印度人及亞細亞人ニ於テハ増加セリ

區別	千九百十四年	千九百十五年
歐洲人	四割一分六四	四割一分〇三
蘭領印度人	五割三分二〇	五割三分七二
其他ノ亞細亞人	五分一六	五分二五

預入金額ハ

七百五十八萬四千九百四十二「フロリン」(千九百十四年 七百五十三萬二千九百八十六「フロリン」)

拂戻金額ハ

六百六十二萬九千七百十三「フロリン」(千九百十四年 八百五十三萬一千五百一十一「フロリン」)

ニシテ千九百十六年一月一日現在預金高ハ
 一千七十一萬一千五百九十五「フロリン」
 ニ上リ前年度ニ比シ約百二十萬「フロリン」ヲ増加ナリ
 是ハ千九百十五年ニ於テ拂戻カ千九百十四年ニ於ケルヨリモ非常ニ減退セシニ基
 因ス。事業費ハ取扱一口ニ對シ五十七「セント」ナリ

附註

一 埃及磅 || 我十圓一錢強

一磅〓二十志〓二百四十片〓我九圓七十六錢三厘
一「エスキュード」〓百「セント」〓我二圓十七錢八厘
二「フロリン」〓百「セント」〓我八十錢六厘四毛

第七章 葡萄牙ノ郵便貯金

(千九百十七年八月號
「ユニオン・ホスタル」所載)

千九百十四年以降千九百十五年ニ於テハ金額二十三萬七千七百七十四「エスキュード」之ニ對スル口數二萬三千五百五十四口ナリシカ千九百十五年乃至千九百十六年ニ至ル會計年度七月一日ヨリ六月三十日ニ至ルニ於テハ金額四十萬八百二十六「エスクエド」口數三萬二百七十口ノ預入アリ
右預入ノ內金額十一萬二百七十七「エスキュード」之ニ對スル口數四千三百五十口ハ前期ニ屬シ金額二十九萬五百四十「エスキュード」口數二萬五千八百五十七口ハ後期預入ニ屬ス而シテ前期預入ノ內二千七百三十八口ハ現金ニヨリ千六百十二口ハ郵便切手ニヨル後期ニ於テハ一萬五千百七十七口ハ現金ニヨリ一萬七百四十口ハ郵便切手ニヨル拂戻高ハ口數一萬三千四十五口金額三十二萬二千九百十三「エスキュード」ニシテ中九千八

百四十八口ハ一部拂戻ニ屬シ千四百九十七口ハ全額拂戻ニ屬ス因ニ千九百十四年乃至千九百十五年ニ於テハ拂戻八千十五口十八萬三千六百五十七「エスキュード」ナリキ之レヲ見レハ預入額ノ拂戻額ニ超過スルコト七萬七千九百十三「エスキュード」ナリトス千九百十六年六月三十日ニ於テハ預ケ人金額ハ元金繰入利子ヲ包含シテ二十七萬六千四百四十六「エスキュード」ヲ算セリ
投資額(貸付額)ニ對スル利息受取高ヨリ成ル金庫ノ收入ハ一萬二千八百九十「エスキュード」ニシテ預金者ニ支拂ハレタル預金利子額ハ六千五百九十一「エスキュード」ナリ而シテ四千七百四十八「エスキュード」ノ政府公債ハ預ケ人ノ要求ニ應シ購買セラレタリ

葡領印度ノ郵便貯金

(「ユニオン・ホスタル」
一九一七年十月號所載)

葡領印度ニ於ケル郵便貯金ハ一千九百十六年七月十日ヨリ創始セラレタリ此ノ新制度ニ關スル規則等ハ同年六月二十七日殖民地總督ヨリ發セラレタルモノナルカ中ニ左ノ重要ナル條項ヲ含メリ

郵便貯金ハ殖民地政府ニ於テ之ヲ保證ス
郵便貯金ノ管理ハ當共和國ノ檢事總長會計検査官及郵便管理官ヨリ成立セル管理局

ノ權限ニ屬シ檢事總長ハ其局長官トシテ行動ス書記ノ地位ハ郵便管理官カ其ノ目的ノ爲ニ指命シタル郵便官吏ヲ以テ之ニ充ツ

管理局ハ少クモ毎月一回其ノ通常定期會ヲ開ク又各局長官カ必要ト認メ若ハ管理官ノ一人ノ要求アルトキハ臨時會議ヲ開カルヘシ管理局ノ裁決ハ最少限二名ノ管理官ノ出席アリタルトキハ有效ナリ

取扱局

郵便管理官ハ郵便管理局ノ管理セル郵便貯金ニ對シ責任ヲ負フ
内地郵便爲替ヲ振出ス權限アル郵便局ハ總テ之ト等シク郵便貯金事務ヲ取扱フヘキ權限ヲ有ス

通帳制限

貯金通帳ハ郵便管理局ニ於テ之ヲ發行シ郵便貯金事務ヲ取扱フ郵便局又ハ取扱所ニ於テ之ヲ預入者ニ交付ス何人モ一冊以上ノ貯金通帳ヲ所持スルコト能ハス二名又ハ二名以上ノ個人ノ爲ニ同一ノ通帳ヲ發行スルコトヲ得ス而レトモ適法ニ設立セル會社又ハ協會ニ對シテハ二冊以上ノ通帳ヲ發行スルコトヲ得ヘシ
未成年者ノ爲ニセル貯金ハ其ノ所有者カ成年ニ達シタル時ニ之ヲ拂戻スコトヲ得ルノミ未タ成年ニ至ラサル以前ニ婚姻ヲ爲ス小女ハ其ノ結婚ノ日ヨリ其ノ貯金ヲ處分スヘキ權利ヲ有ス

既婚婦人ハ自己名義ノ通帳ヲ所持スルコトヲ得其ノ貯金ノ拂戻ヲ爲スニ其ノ夫ノ同意ヲ要セス

預入制限

一ケ年内ニ預入セラルヘキ金額ハ二千五百ルービーヲ超過スヘカラス而シテ四タンカ以下ノ端金ハ之ヲ預入スルコトヲ得ス同一人ノ預入者ノ貸方殘高ハ五千ルービーヲ超過スルヲ得ス之ヲ超過スル額ニ對シテハ利子ヲ付セス慈善協會又ハ救濟組合ノ貸方殘高ハ之ニ反シ一萬二千ルービーノ額ニ達セシムルコトヲ得ヘク此等ノ通帳ヲ以テ一ケ年内ニ五千ルービー以上ノ預金ヲ爲スコトヲ得

切手貯金

特別臺紙ニ貼附セル郵便切手ハ預金トシテ受理ス臺紙ニハ總テ定額八タンガニ相當スル郵便切手ヲ全部貼附スルヲ要シ而シテ同一人ノ預入シ得ヘキ額ハ一ケ月臺紙十枚ヲ超ユルコト能ハス

利子

元加利子ノ割合ハ現時百分ノ三ニシテ預入ノ翌月ノ初日ヨリ拂戻ヲ爲シタル月ノ末日迄之ヲ付スルービー未滿ニハ利子ヲ付セス

一部拂戻

一部拂戻ハ八タンガ以下ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス又一タンガ未滿ノ端數ヲ付スルコトヲ得ス一人ノ預金者ハ一日ニ本局ニ於テハ一千ルービー又他ノ局所ニ於テハ五百七十ルービー以上ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得ス

即時拂

郵便貯金ノ拂戻請求書ハ郵便貯金事務ヲ取扱フ郵便局所ノ媒介ヲ經テ郵便管理局ニ
回付セラル十五ルービー迄ノ拂戻ハ郵便爲替取扱局ニ於テ即時拂戻ヲ受クルコトヲ
得ヘシ

電報拂

貯金ノ拂戻請求ハ亦電報料金を支拂フトキハ電報ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得ヘシ同一
人ノ預金者カ一日ニ拂戻シ得ヘキ金額ハ拂戻證書ヲ電報ニテ送付スルトキハ三百ル
ービー又郵便ヲ以テ送付スルトキハ五百七十ルービーノ額ヲ超過スルコトヲ得ス

證券購入
保管

郵便貯金部ハ預金者ノ委託ヲ受ケ殖民地政府ノ保證スル公債等ノ購入ヲ取扱フ購入
セル公債ハ請求人ノ希望ニ依リ或ハ郵便貯金部ニ保管シ又ハ請求人ニ之ヲ交付ス
一月ニハ定期ニ其ノ月中ニ貯金通帳ヲ利子記入ノ爲本局ニ送付スルコトヲ要ス

再發通帳

亡失通帳ハ每一冊ニ付十タンガノ料金を拂ヒテ之カ再發ヲ受クコトヲ得此ノ種ノ請
求書ハ貯金事務ヲ取扱フ郵便局所ノ媒介ヲ經テ郵便貯金部ニ提出スルコトヲ要ス郵
便貯金部ハ通帳亡失ノ際通知ヲ受ケサリシトキハ詐欺拂戻ニ對シテ責任ヲ負ハス

没入

十五ケ年間預拂ノ取扱無キ貯金原簿ハ之ヲ閉止シ其ノ現在金ヲ其ノ所有者ニ償還ス
ヘシ若シ或理由ノ爲メ償還スルコトヲ得サル場合ハ其ノ貸方殘高ハ郵便貯金部ノ所
有ニ歸ス

貯金運用

預金者ノ爲ニ購入セル債券ニシテ郵便貯金部ニ保管スヘキモノニアラサルモノニ若
シ十五ケ年間内ニ之カ交付ノ要求ナキトキ亦等シク郵便貯金部ノ所有ニ歸ス
郵便貯金ノ運用資金ハ殖民地政府ノ發行セル公債市債局ノ市債券及母國又ハ葡領殖
民地ノ公用基金ニ投資ス

第八章 佛蘭西ノ郵便貯金

(千九百十七年九月號
「ユニオン・ポスト」所載)

戰爭ノ繼續ハ千九百十五年ニ於テ自然ニ郵便貯金ノ取扱高ニ影響ヲ及シ預金ノ減少
ヲ來スト共ニ預金者ノ資本ノ損害ニ因リ拂戻ノ増加ヲ惹起セリ
然レモ千九百十四年ニ於ケル預入金額四億五千二十萬六千二百七法、口數三百四十二
萬六千八百四十五口ナルニ對シ本年ハ金額九千九百九十八萬四千二十六法、口數百萬二
千六百十口アリタリ
同一預ケ人ノ拂戻ハ二週間五十法ヲ最高限度トスルコトニ制限セル保護規則ノ爲ニ
拂戻ハ其ノ額一億六千二百六十四法ヲ超過セサリシモ常ニ比スレハ
夥シク其ノ數ヲ増セリ因ニ千九百十四年ニ於テ拂戻額ハ五億七百六萬七千四百七法
ナリキ

而シテ上記ノ取扱高ニ國防公債ノ醸金ヲ支拂フ目的ヲ以テ拂戻サレタル金額一億二千四百七萬五千六百七法之ニ對スル口數三十一萬五千四百二十五口ヲ加算スヘキモノトス然レモ預金者ハ公債ニ對スル醸金ノ半額以上ヲ拂出スコトヲ許可セラレザリシ點ヲ注意セサルヘカラス

本年内ニ於テ金額二億八千六百二十三萬六千八百七十二法口數三百六十八萬一千七百七十九口ノ拂戻アリタリ爲ニ拂戻ハ預入ニ超過スルコト一億九千四百二十五萬二千四百四十五法ニ及ヘリ(因ニ千九百十四年ニ於テハ五千六百八十六萬二千二百法ナリキ)

預金者ノ預金現在額ハ元金繰入利子(四千三百八十一萬九百五十九法)ヲ合算スルトキハ千九百十四年末ニ於テ十八億六百五十七萬八千八百四十一法ナルニ對シテ十六億五千六百十三萬七千三百五十六法ナリキ而シテ此ノ減少額ハ一億五千四百四萬一千四百八十五法ニシテ即チ國防公債ノ醸金ニ對スル拂戻金額ヲ控除スルトキハ僅ニ二千六百三十六萬五千八百七十八法ナリトス

千九百十五年ニ於テ十三萬二千六百三十五冊ノ新通帳發行サレ八萬七千二百四十五冊ヲ全拂シ爲ニ預金者ハ四萬五千三百九十人ヲ増加シ本年末ニ於テ其ノ人員六百六

十萬一千三百八十二人ニ達セリ

合計金額百九十七萬三千七百七十六法口數三千九百九十四口ノ預金移替ハ普通貯金ヨリ國民貯金ニ對シテ爲サレ又金額二十九萬六千九百九十五法口數五百六口ノ移替ハ國民貯金ヨリ普通貯金ニ對シテ爲サレタリ

千九百十五年十二月三十一日ニ於テ國民貯金局ハ二萬一千六百六十一ノ證券ヲ保管シ其等證券ニ對シ六十五萬一千三百六十二法ハ利子トシテ正金ニ引換ヘラレ預金者ノ預金ニ繰入レラレタリ而シテ千九百十五年ニ於テ九萬二千九百五十一枚ノ利札ハ蒐集セラレ十枚ノ地券ハ寄託者ノ要求ニ依リ五千八百六十一法ニテ賣却セラレタリ本年内ニ於テ五山及十山ノ切手ヲ貼附シテ各一法ノ額ニ達セル三萬一千六百六十三枚ノ貯金臺紙ハ國民貯金局ニ於ケル預金ニ投セラレタリ

國際業務ニ就テハ白耳義國立貯金局トノ間ニ於テ金額百六萬四千七百十法口數二萬一千六百九十口ノ拂戻ヲ伊太利郵便貯金局トノ間ニ於テ金額百三十七萬四千六百六法口數二萬八千三百八十二口ノ拂戻ヲ爲シタリ

大正七年一月二十六日印刷
大正七年一月二十八日發行

爲替貯金局

印刷者 吉原良三
東京市麴町區有樂町二ノ一

印刷所 報文社
東京市麴町區有樂町二ノ一
電話本局一七九〇番

326
314

漢書禮全圖

大正十一年一月二十六日

大正十一年一月二十六日

漢書禮全圖
禮記卷之...

終